



令和7年度

市民アンケート実施結果(速報集計)

調査の概要

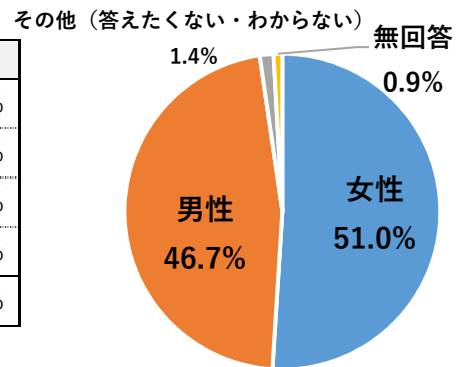
調査設計	◆調査対象 満18歳から74歳までの鹿角市民 ◆対象者数 900人 ◆抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出	◆実施方法 自治会長等を通じた配付と郵送回収及びWeb回答 ◆調査期間 令和7年5月29日(木)～6月13日(金) ◆有効回答 437人(回答率48.6%)
調査項目	1.市の政策について 2.運動の実施状況について 3.中心市街地について 4.学校の再編について 5.公共交通について 6.観光について 7.大館能代空港の利用について 8.カーボンニュートラルについて 9.コモッセの利用状況について 10.芸術鑑賞について 11.男女共同参画の状況について 12.旧十和田高校跡地の活用について 13.まちの満足度について	

※ 基数となるべき実数(N)は、設問に対する回答者数です。また、本文中の百分率は少数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100にならない場合や複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合があります。

調査回答者の属性

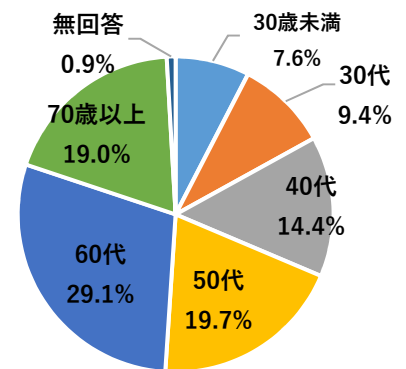
1 性別

区分	回答者数	構成比
女性	223	51.0%
男性	204	46.7%
その他(答えたくない・わからない)	6	1.4%
無回答	4	0.9%
計	437	100.0%



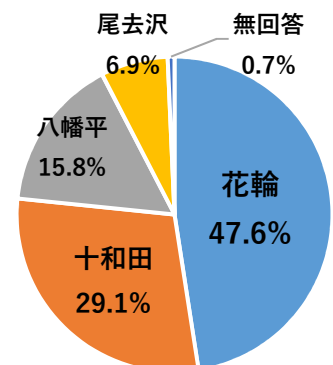
2 年代別

区分	回答者数	構成比
30歳未満	33	7.6%
30代	41	9.4%
40代	63	14.4%
50代	86	19.7%
60代	127	29.1%
70歳以上	83	19.0%
無回答	4	0.9%
計	437	100.1%



3 地区別

区分	回答者数	構成比
花輪	208	47.6%
十和田	127	29.1%
八幡平	69	15.8%
尾去沢	30	6.9%
無回答	3	0.7%
計	437	100.1%



1 市の政策について

設問2 あなたは、市が進めている取組にどのくらい満足していますか。また、今後のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えていますか。あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

【市が進めている取組に対する満足度】

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「満足」、4「やや満足」、3「普通」、2「やや不満」、1「不満」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これまでの満足度」に関する状況を調査しています。

順位	取組方針	満足度スコア	回答者の割合						
			満足 (5)	やや満足 (4)	普通 (3)	やや不満 (2)	不満 (1)	わからない	無回答
1位	⑬ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	3.27	10.1%	19.7%	54.7%	7.6%	3.4%	3.0%	1.6%
2位	④心身の健康づくり	3.20	8.7%	17.8%	53.5%	6.9%	4.8%	5.3%	3.0%
3位	⑯火災や救急に対する体制強化の推進	3.16	4.3%	14.0%	60.4%	5.9%	1.6%	11.9%	1.8%
4位	⑳スポーツの力でまちの魅力向上	3.06	4.6%	13.7%	54.9%	8.5%	4.6%	12.1%	1.6%
5位	⑩衛生的で良好な生活環境の確保	3.05	8.7%	12.6%	52.6%	12.6%	6.4%	5.3%	1.8%

市が進めている取組に対する満足度として最も高い評価を得たのは、「ごみの適正処理と資源リサイクルの推進」です。5点を満点として点数化した満足度のスコアは3.27、29.8%の人が満足・やや満足、54.7%の人が普通という評価をしています。

2番目に多く選ばれたのは、「心身の健康づくり」です。満足度のスコアは3.20、26.5%の人が満足・やや満足、53.5%の人が普通という評価をしています。

3番目に多く選ばれたのは「火災や救急に対する体制強化の推進」です。満足度のスコアは3.16、18.3%の人が満足・やや満足、60.4%の人が普通という評価をしています。

4番目は、「スポーツの力でまちの魅力向上」です。満足度のスコアは3.06、18.3%の人が満足・やや満足、54.9%の人が普通という評価をしています。

5番目は、「衛生的で良好な生活環境の確保」です。満足度のスコアは3.05、21.3%の人が満足・やや満足、52.6%の人が普通という評価をしています。

[参考] 過去5年間の推移 ※R3より項目の表記を変更

順位	R1	R2	R3	R4	R5
1位	子育て支援の充実	高齢者福祉の充実	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進	ごみの適正処理と資源リサイクルの推進
2位	高齢者福祉の充実	快適環境の創出	心身の健康づくり	心身の健康づくり	心身の健康づくり
3位	健康づくりの推進	子育て支援の充実	文化財の保存	衛生で良好な生活環境の確保	衛生的で良好な生活環境の確保
4位	観光の振興	水道水の安定供給	衛生的で良好な生活環境の確保	文化財の保存	文化財の保存
5位	農業生産の振興	健康づくりの推進 消防・救急体制の充実	火災や救急に対する体制の強化 防犯や交通安全の推進	緑と水の映えるまちの環境を守ります	火災や救急に対する体制強化の推進

【今後のまちづくりに対する重要度】

第7次鹿角市総合計画前期基本計画の各戦略目標を達成するために定めた32の取組方針に関連する事柄について、5「重要」、4「やや重要」、3「普通」、2「あまり重要でない」、1「重要でない」、0「わからない」の中から1つを選択する形式で「これからの重要度」に関する状況を調査しています。

順位	取組方針	重要度スコア	回答者の割合						
			重要(5)	やや重要(4)	普通(3)	あまり重要でない(2)	重要でない(1)	わからない	無回答
1位	⑤適切な医療を受けられる体制の整備	4.56	64.5%	17.2%	9.4%	0.2%	0.9%	0.9%	6.9%
2位	②市民等の意欲のある就労・就農への支援	4.37	48.5%	26.1%	13.3%	0.9%	0.2%	6.4%	4.6%
3位	⑦地域ぐるみの子育て支援の充実	4.36	51.0%	19.9%	16.7%	0.7%	0.5%	3.4%	7.8%
4位	①地域産業の成長に対する支援	4.32	44.9%	26.5%	14.4%	0.9%	0.2%	7.6%	5.5%
5位	⑩災害に強いまちの基盤整備の推進	4.14	38.0%	31.1%	23.6%	0.2%	0.2%	3.4%	3.4%

今後のまちづくりに対する重要度として最も多くの方に選ばれたのは、「適切な医療を受けられる体制の整備」です。5点を満点として点数化した重要度のスコアは4.56、81.7%の人が重要・やや重要という評価をしています。

2番目に多く選択されたのは、「市民等の意欲のある就労・就農への支援」です。重要度のスコアは4.37、74.6%の人が重要・やや重要という評価をしています。

3番目は「地域ぐるみの子育て支援の充実」で、重要度のスコアは4.36、70.9%の人が重要・やや重要という評価をしています。

4番目は「地域産業の成長に対する支援」で、重要度のスコアは4.32、71.4%の人が重要・やや重要という評価をしています。

5番目は「災害に強いまちの基盤整備を推進」で、重要度のスコアは4.14、69.1%の人が重要・やや重要という評価をしています。

[参考] 過去5年間の推移 ※R3より項目の表記を変更

順位	R1	R2	R3	R4	R5
1位	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	適切な医療を受けられる体制の整備	適切な医療を受けられる体制の整備	適切な医療を受けられる体制の整備
2位	商店街の活性化	商店街の活性化	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	地域ぐるみの子育て支援の充実	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援
3位	学校教育の充実	雇用の安定	地域産業の成長に対する支援	市民等の意欲のある就労・就農に対する支援	地域産業の成長に対する支援
4位	雇用の安定	地域産業の活性化	地域ぐるみの子育て支援の充実	子どもから青少年までの生きる力の育成	地域ぐるみの子育て支援の充実
5位	市街地の整備	公共交通の確保	子どもから青少年までの生きる力の育成	地域にあった公共交通手段の確保	子どもから青少年までの生きる力の育成

満足度・重要度が共に高いのは、「④心身の健康づくり」、「⑧高齢者のいきいきとした暮らしの支援」、「⑩衛生的で良好な生活環境の確保」、「⑮災害への対応力のある地域づくり」、「⑯火災や救急に対する体制の強化を推進」、「⑰災害に強いまちの基盤整備を推進」、「⑲子どもから青少年までの生きる力の育成」、であり、今後も重点的に取組を継続していく分野といえます。

一方、満足度が低く、重要度が高いのは、「①地域産業の成長に対する支援」、「②市民等の意欲のある就労・就農の支援」、「③産業の担い手の確保」、「⑤適切な医療を受けられる体制の整備」、「⑦地域ぐるみの子育て支援の充実」、「⑫地域に合った公共交通手段の確保」、「⑲販売重視型農業と6次産業化の推進」、「⑳稼げる観光資源の推進」の8項目でした。

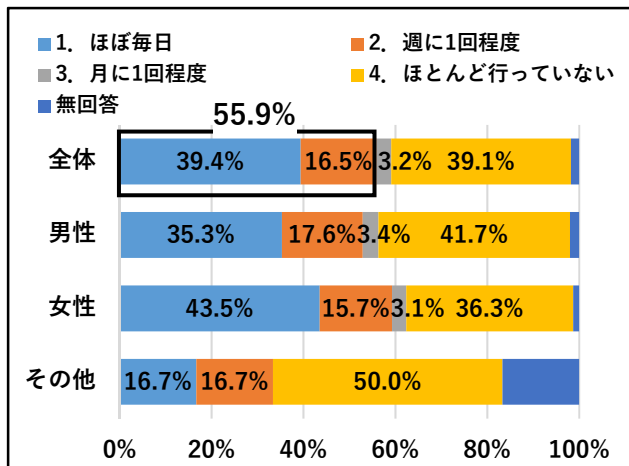
人口減少が進み、若者の確保が難しくなっている中、本市の産業振興と産業の担い手を確保する分野については、市の重要な課題として市民からは認識されています。また、適切な医療を受けられる体制の整備についても、医師や医療従事者の不足が顕在化している中で、地域の暮らしを守るために必要な医療水準の維持が求められています。

取組方針	満足度		重要度	
	スコア	順位	スコア	順位
①地域産業の成長を支援します	2.39	28位	4.32	4位
②市民等の意欲のある就労・就農を支援します	2.34	30位	4.37	2位
③市内外から産業の担い手を確保します	2.46	27位	4.10	7位
④心身の健康づくりに取り組みます	3.20	2位	4.06	10位
⑤適切な医療を受けられる体制を整えます	2.04	32位	4.56	1位
⑥結婚の希望が叶うよう応援します	2.54	25位	3.83	23位
⑦地域ぐるみの子育て支援を充実します	2.69	21位	4.36	3位
⑧高齢者のいきいきとした暮らしを支援します	2.83	14位	4.01	12位
⑨誰もが尊重され、社会参加できる地域をつくります	2.86	13位	3.69	29位
⑩衛生的で良好な生活環境を確保します	3.05	5位	3.95	15位
⑪安全・安心な住まいづくりを進めます	2.68	22位	3.82	24位
⑫地域に合った公共交通手段を確保します	2.33	31位	4.07	9位
⑬ごみの適正処理と資源リサイクルを進めます	3.27	1位	3.84	21位
⑭緑と水の映えるまちの環境を守ります	3.00	7位	3.86	20位
⑮災害への対応力のある地域をつくります	2.98	10位	4.10	7位
⑯火災や救急に対する体制の強化を進めます	3.16	3位	4.00	14位
⑰災害に強いまちの基盤整備を進めます	2.80	16位	4.14	5位
⑱防犯や交通安全を進めます	2.99	9位	3.90	17位
⑲子どもから青少年までの生きる力を育みます	2.89	12位	4.11	6位
⑳地域の特色ある教育活動を実施します	2.96	11位	3.88	19位
㉑自ら学び、行動する社会人を支援します	3.02	6位	3.72	28位
㉒人や地域の活力を生む交流を促進します	2.77	17位	3.81	25位
㉓販売重視型農業と6次産業化を進めます	2.74	19位	4.01	12位
㉔稼げる観光振興を進めます	2.39	28位	4.05	11位
㉕スポーツの力でまちの魅力を高めます	3.06	4位	3.53	32位
㉖次世代産業の創出に取り組みます	2.74	19位	3.89	18位
㉗文化財の保存に取り組みます	3.00	7位	3.79	26位
㉘ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます	2.81	15位	3.63	30位
㉙効率的な行財政運営を推進進めます	2.63	24位	3.91	16位
㉚未来技術の導入を進めます	2.65	23位	3.84	21位
㉛多様な主体の力で共に発展するまちづくりを進めます	2.76	18位	3.59	31位
㉜コンパクトなまちづくりを進めます	2.48	26位	3.74	27位

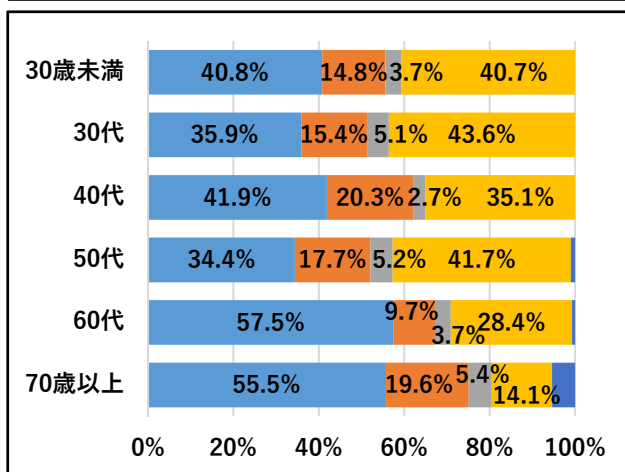
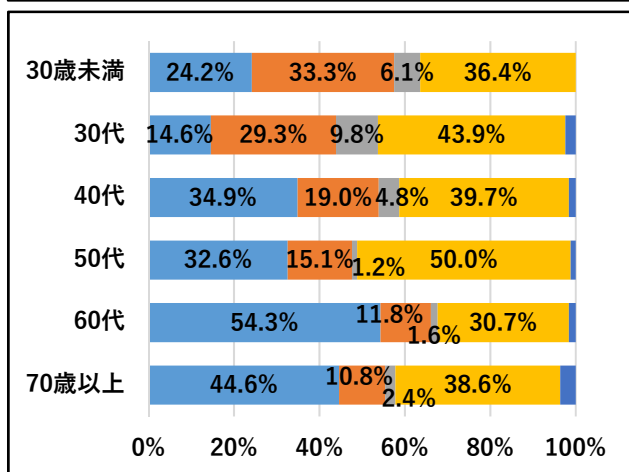
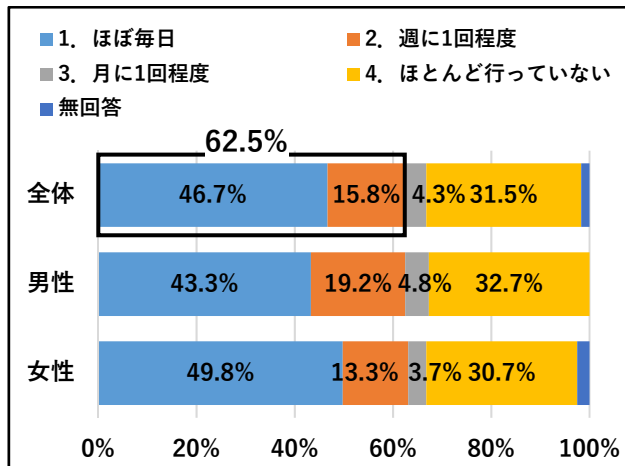
2 運動の実施状況について

設問3 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの時間はどれくらいですか。

R7 市民アンケート結果



(参考) R6 市民アンケート結果



【分析概要】

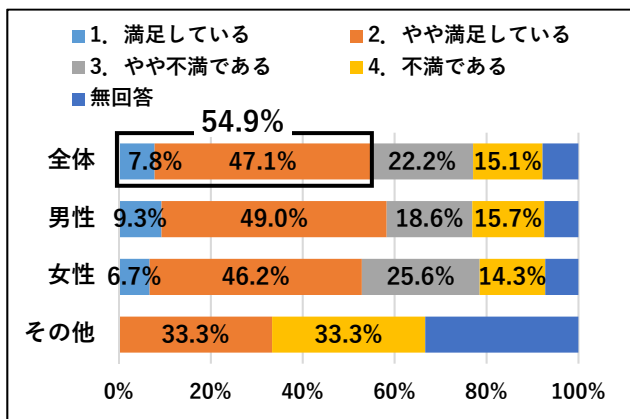
▶週1回以上、運動やスポーツを実施している割合は、55.9%と昨年度と比較して6.6ポイント下回っています。

▶年代別では、週に1回以上実施している割合は、昨年度と比較して30代が7.4ポイント、40代が8.3ポイント、50歳代が4.4ポイントそれぞれ減少していますが、コロナ禍以前から課題として見られていた30代、40代の運動不足の傾向は改善し、各年代とも50%程度で推移しており、運動やスポーツ活動に対する意識の醸成も図られてきたものと思われます。

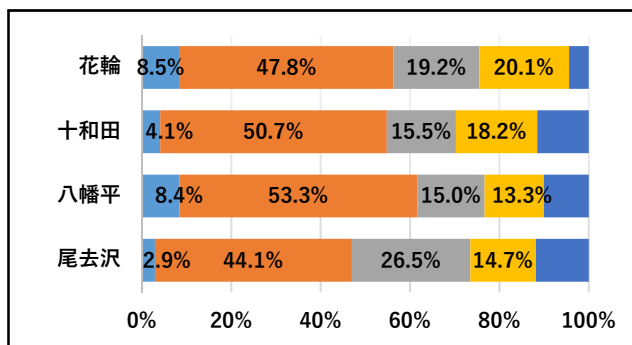
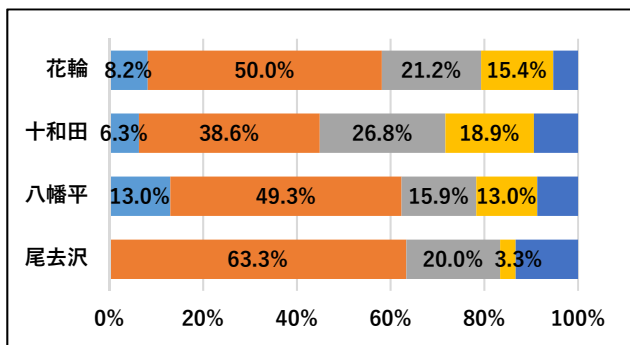
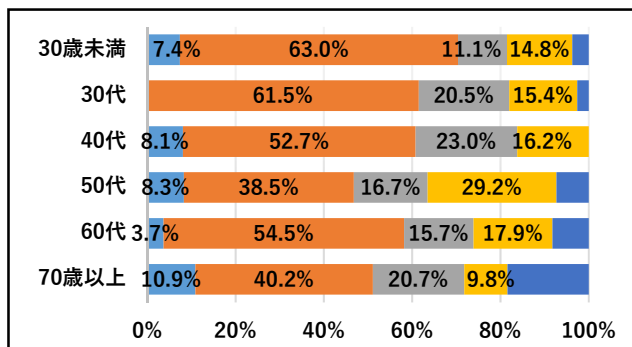
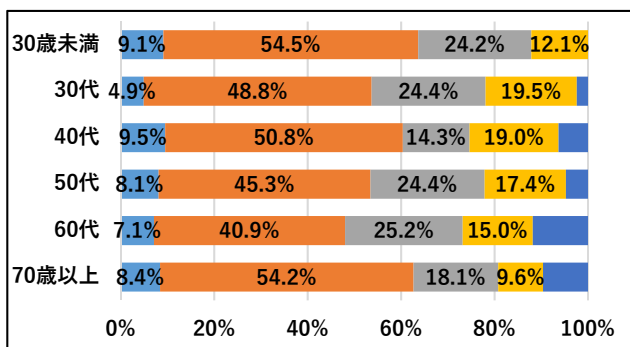
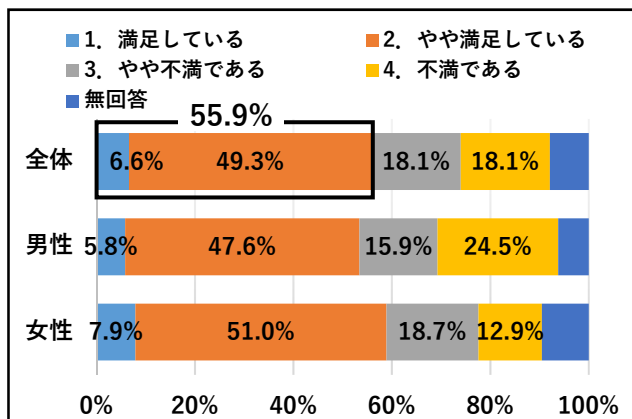
3 中心市街地について

設問4 あなたは、中心市街地の生活環境（住みごこちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

R7 市民アンケート結果



(参考) R6 市民アンケート結果



【分析概要】

▶男女別にみると、男性の満足度は58.3%で前年から4.9ポイント上昇した一方、女性は52.9%で6.0ポイントの減少となりました。

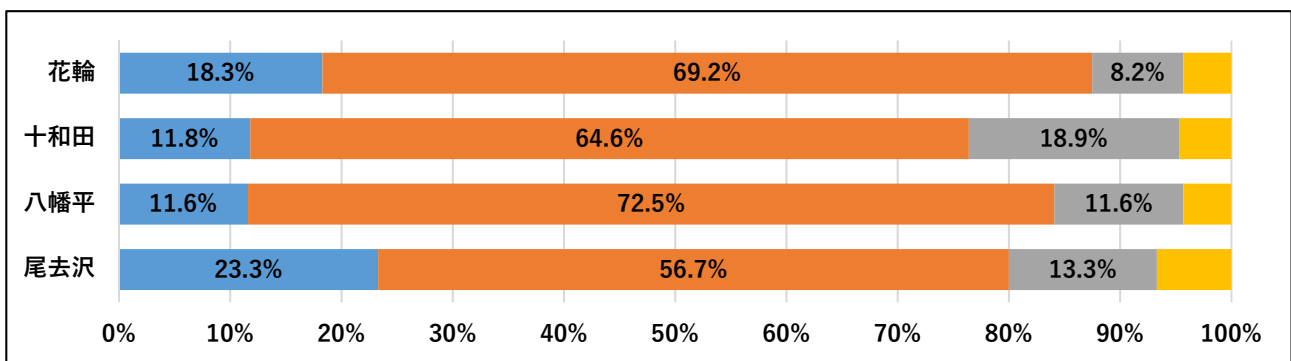
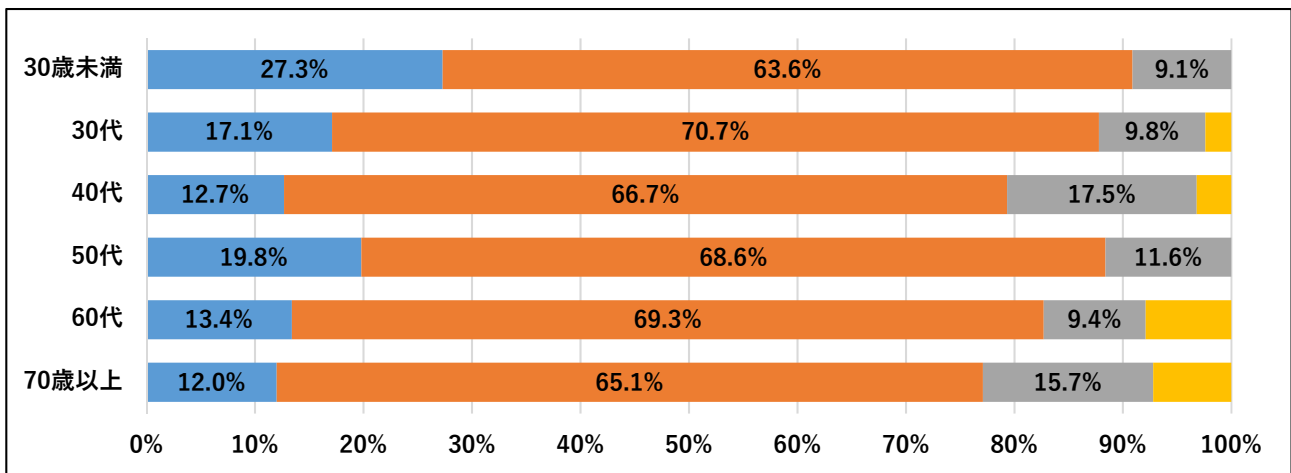
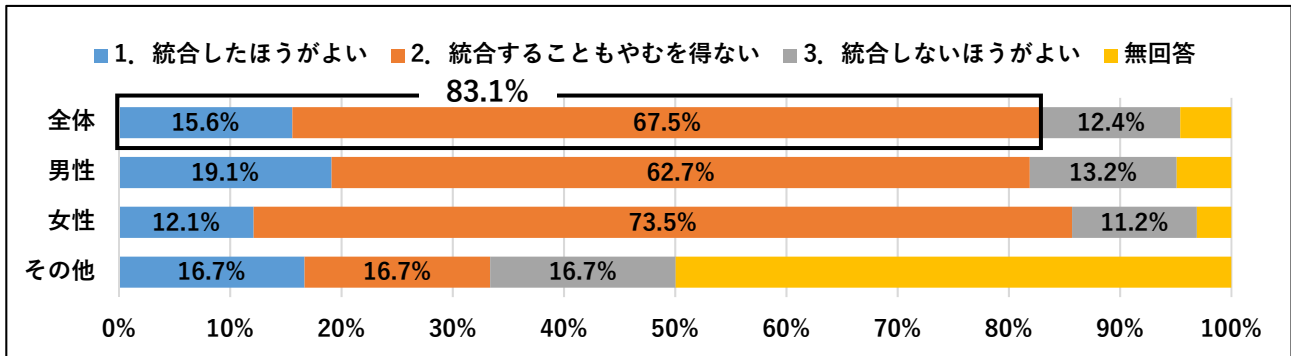
▶年代別では、30歳未満の満足度が63.6%と最も高かったものの、令和3年度以降70%以上を維持していたことを踏まえると大きな減少となっています。30代についても、これまで60%以上で推移していたところから大きく低下しており、若年層における満足度の低下が顕著です。

▶地区別では、十和田地区の満足度が44.9%と最も低く、昨年度から9.9ポイント減少しました。花輪地区は58.2%でしたが、令和3年度の68.7%から継続的に低下しており、5年間で10ポイントの減少となっています。

▶不満の理由としては、公共交通機関の不便さや駐車場の少なさといった交通面での課題が最も多く挙げられ、次いで、飲食店や商業施設の不足による「まちの活気のなさ」が指摘されています。

4 学校の統廃合について

設問5 現在、市内には小学校が6校、中学校が4校あります。児童生徒数の減少により、学校の小規模化が進んでいます。児童・生徒にとって望ましい学校規模にするために学校を再編統合することについてどのようにお考えですか。

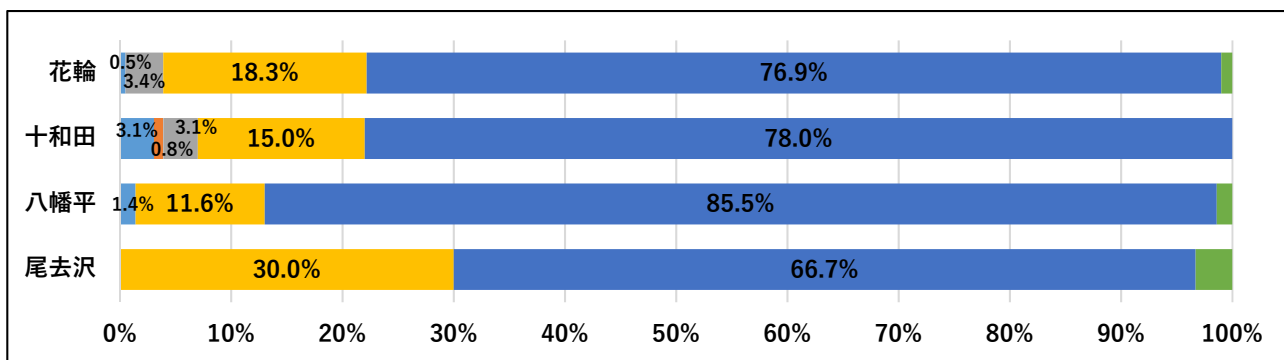
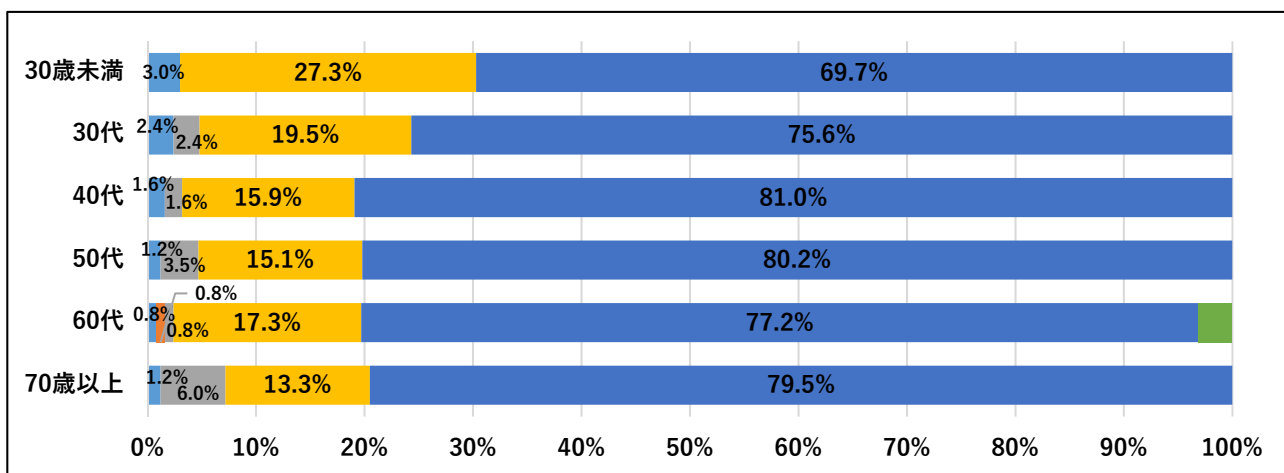
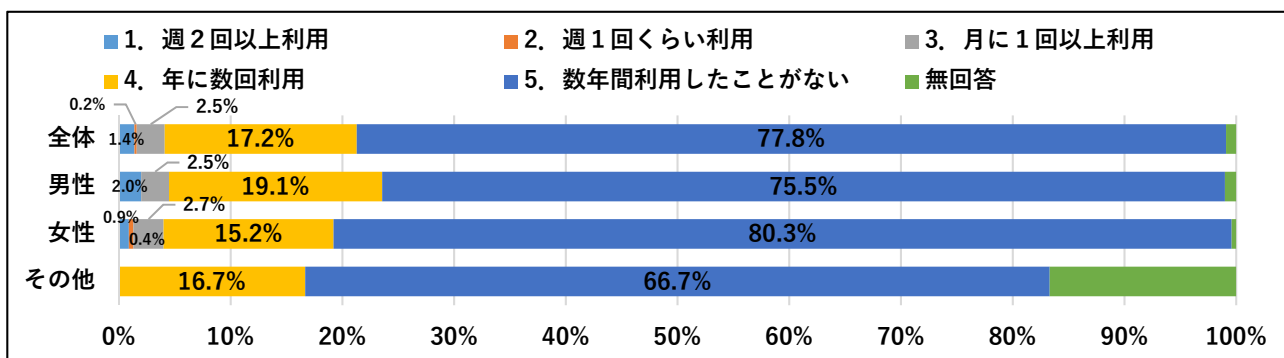


【分析概要】

- ▶ 「統合したほうがよい」または「統合することもやむを得ない」と回答した割合は83.1%でした。
- ▶ 年代別では、30歳未満が90.9%と最も高いほか、最も低い70歳以上でも77.1%となっていることから、全年代を通じて再編統合の必要性を感じていることがうかがえます。
- ▶ 地区別では、比較的規模の大きい学校がある花輪地区が87.5%と最も高く、一方で最も低かったのは十和田地区で76.4%でした。また、十和田地区は「統合しないほうがよい」と回答した割合が18.9%と地区別で最も高く、再編統合した場合に、通学距離が長くなることを不安視する意見が多く見られました。

5 公共交通について

設問 6 ① バス（予約型乗り合いタクシー含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度はどれくらいですか。



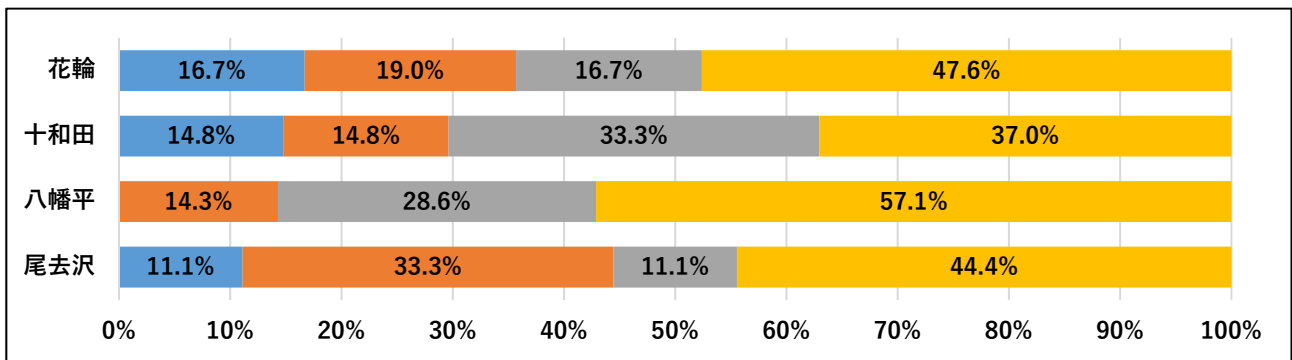
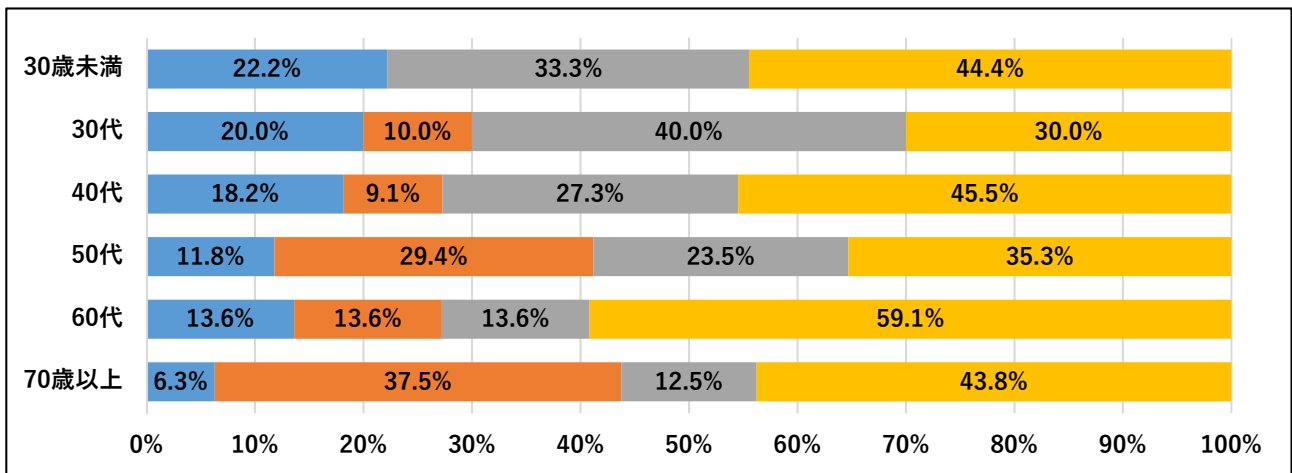
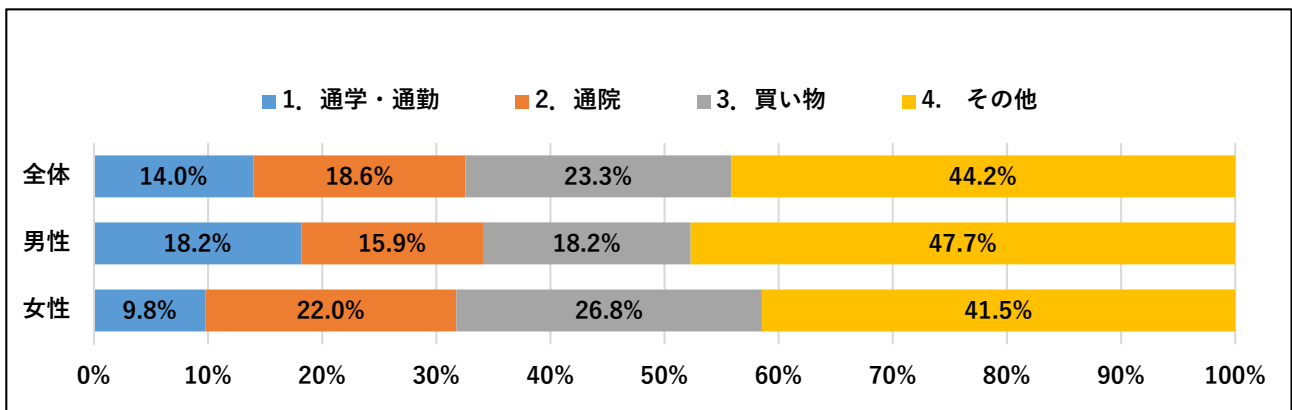
【分析概要】

▶公共交通機関の利用頻度について、「数年間利用したことがない」または「年に数回利用」と回答した割合は 95.0%であり、ほとんどの市民が公共交通機関を日常の移動手段としていないことがうかがえます。

▶年代別では、「数年間利用したことがない」または「年に数回利用」と回答した割合は、30歳未満が 97.0%と最も高くなっています。

▶地区別では、「週2回以上利用」「週1回くらい利用」「月に1回以上利用」と回答した割合は、十和田地区が 7.0%である一方、尾去沢地区では 0%となっており、各地区で利用状況の割合に差があります。

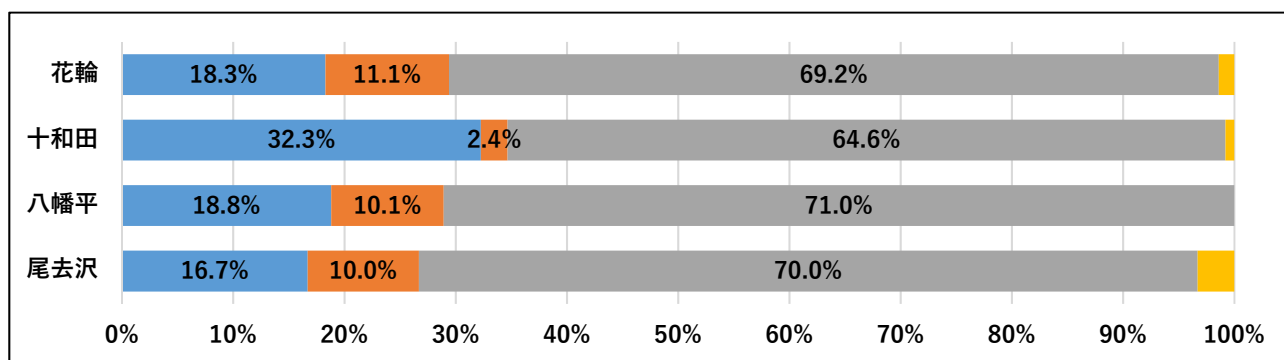
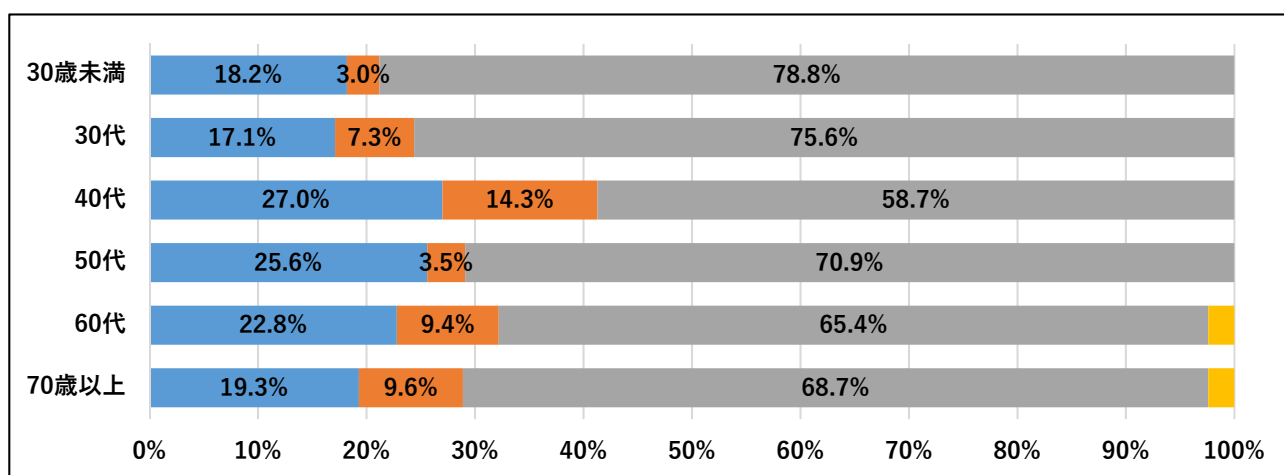
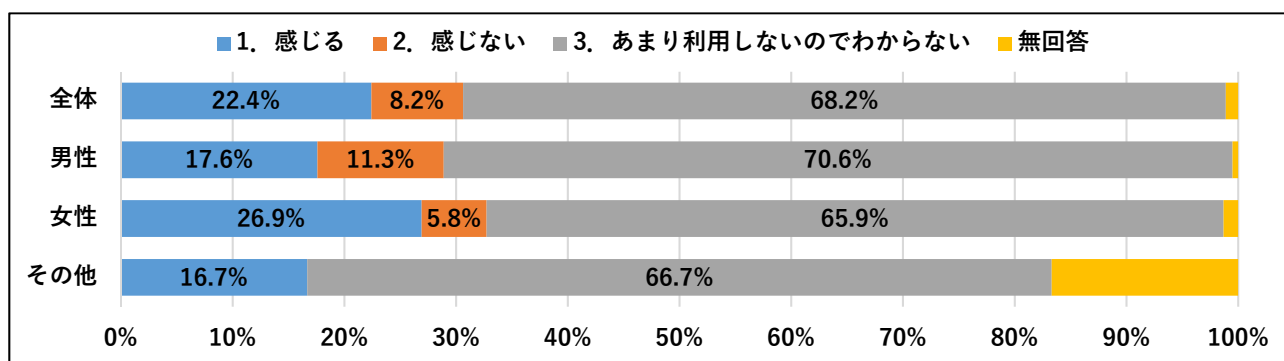
【利用目的 (n=86)】



【分析概要】

- ▶公共交通機関の利用目的として、「買い物」と回答した割合が23.3%と最も高く、次いで「通院」が18.6%、「通学・通勤」が14.0%でした。
- ▶年代別では、「買い物」と回答した割合は30代が40%と最も高く、次いで30歳未満が33.3%と、若い年代では、「買い物」が主な目的として公共交通機関が利用されています。一方で、「通院」となっています。回答した割合は70歳以上が37.5%と最も高く、次いで50代が29.4%と、高齢の年代では「通院」が主な目的として公共交通機関が利用されています。
- ▶「その他」の具体的な回答内容として、「旅行」や「出張」など、主に遠出をする際の移動手段として、公共交通機関が利用されています。

設問 6② あなたは、普段の生活で、公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

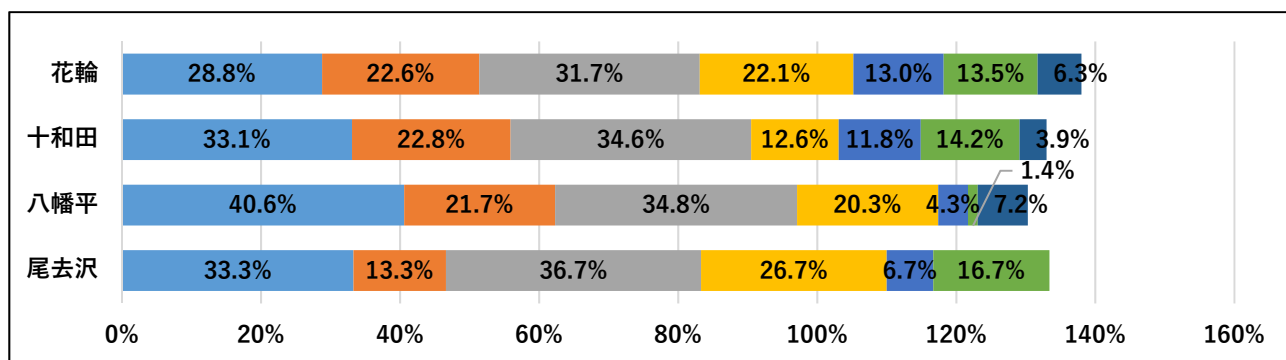
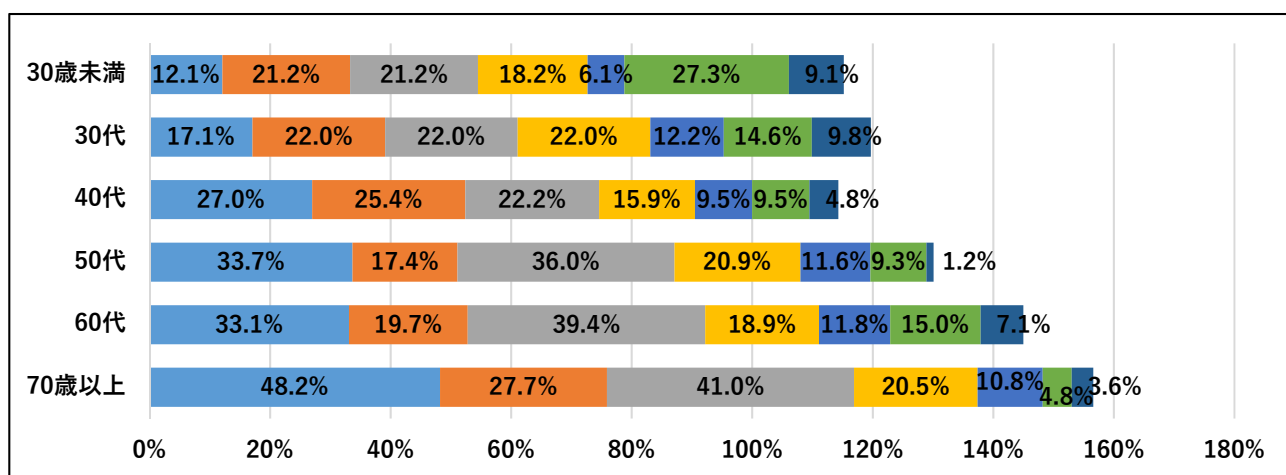
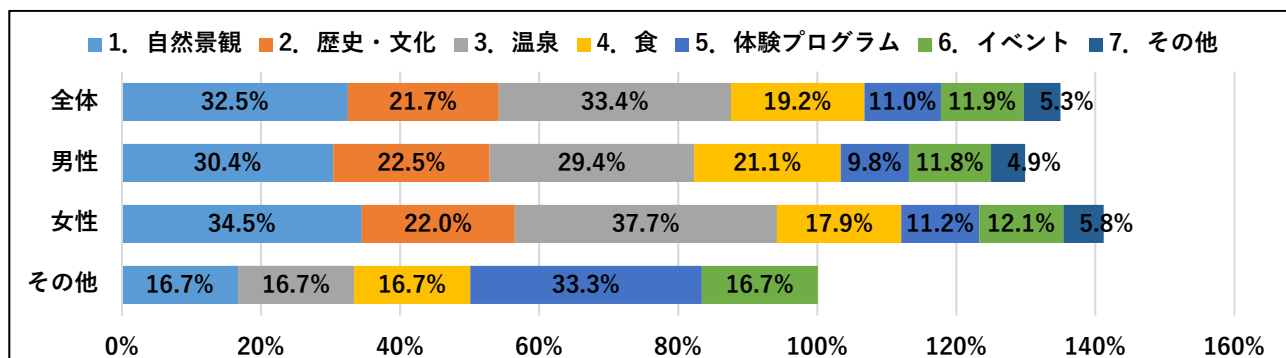


【分析概要】

- ▶公共交通に不便を感じると回答した割合は、22.4%と、前回調査（R3）の20.2%と比較して2.2ポイント増加しています。
- ▶不便を感じる理由としては、バス、鉄道ともに「本数が少ない」、「休日の運行が少ない」といった意見が多数寄せられています。
- ▶公共交通が不便かどうか、「あまり利用しないのでわからない」との回答が68.2%で過半数を超えており、日常的に利用しない方からの公共交通機関への関心が低いことがうかがえます。

6 観光について

設問 7① 本市では、持続可能な観光地づくりを進めようとしています。あなたは、本市で観光などへおすすめしたい、提供する必要がある観光コンテンツは何だと思いませんか。
(複数回答可 n=590)



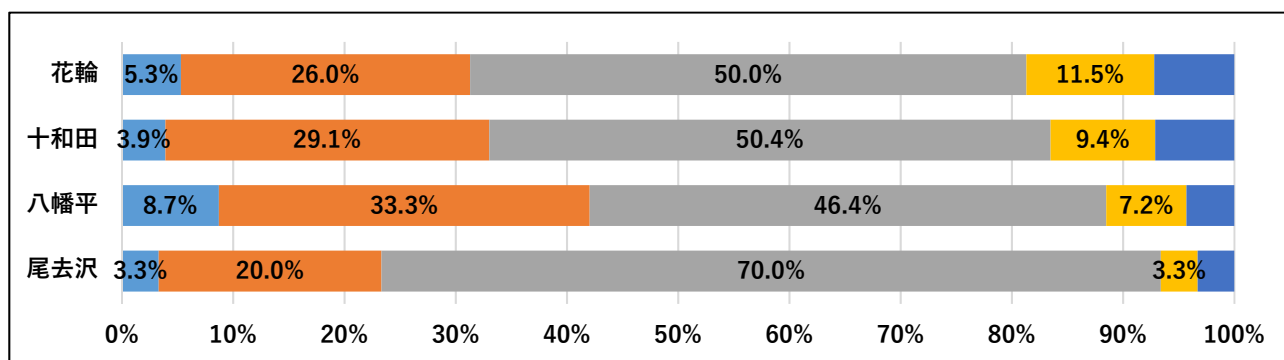
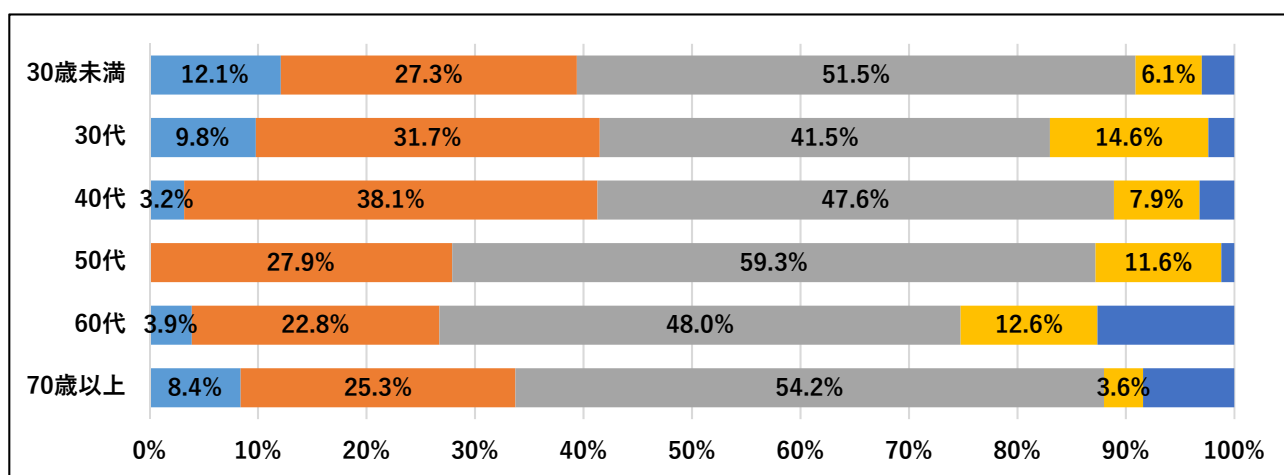
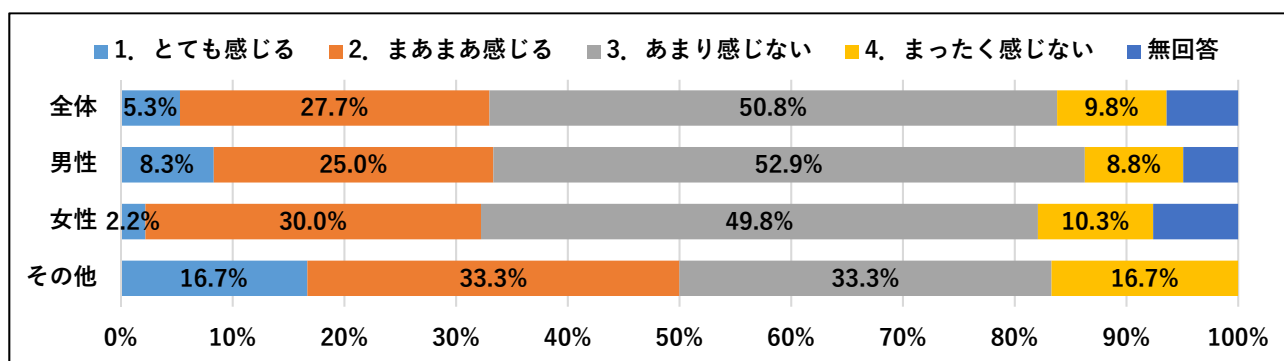
【分析概要】

▶観光客などへおすすめしたい、提供する必要がある観光コンテンツについて、「温泉」と回答した方が全体の回答数の中で33.4%と最も高く、次いで「自然景観」が32.5%、「歴史・文化」が21.7%、「食」が19.2%となっています。

▶年代別では、70歳以上の約半数が「自然景観」と回答しており、最も高くなっています。一方で30歳未満の若い世代では「イベント」と回答した割合が27.3%と最も高くなっています。

▶地区別では、八幡平地域で「自然景観」を選択した人が、40.6%と最も高くなりました。「温泉」を選択した人はすべての地域で30%を超えています。

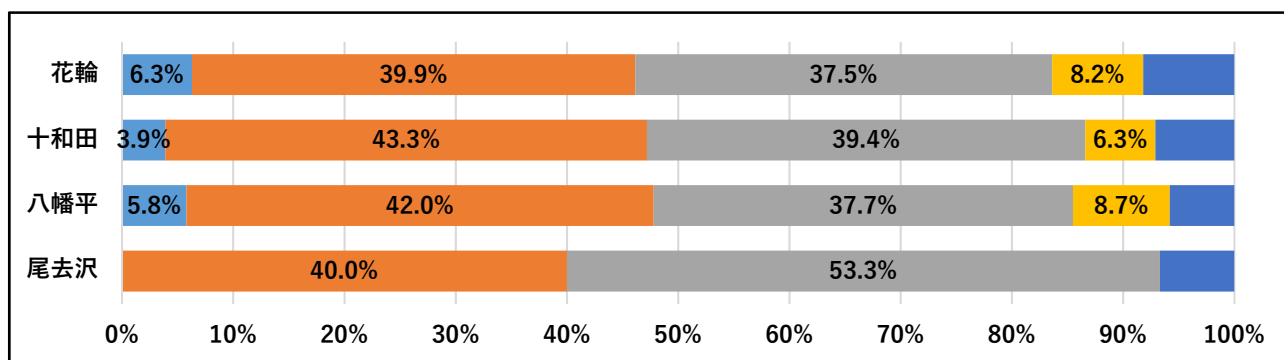
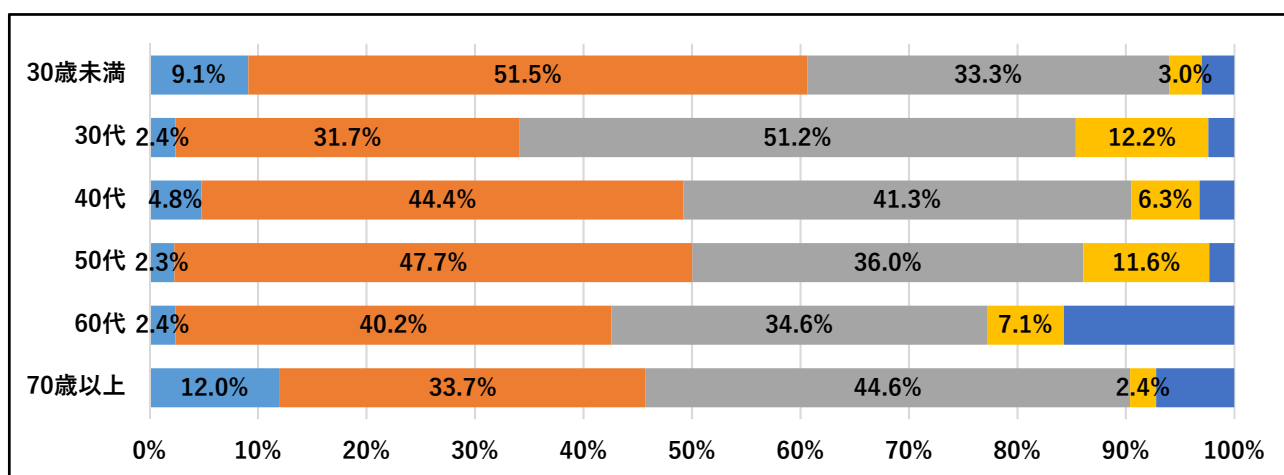
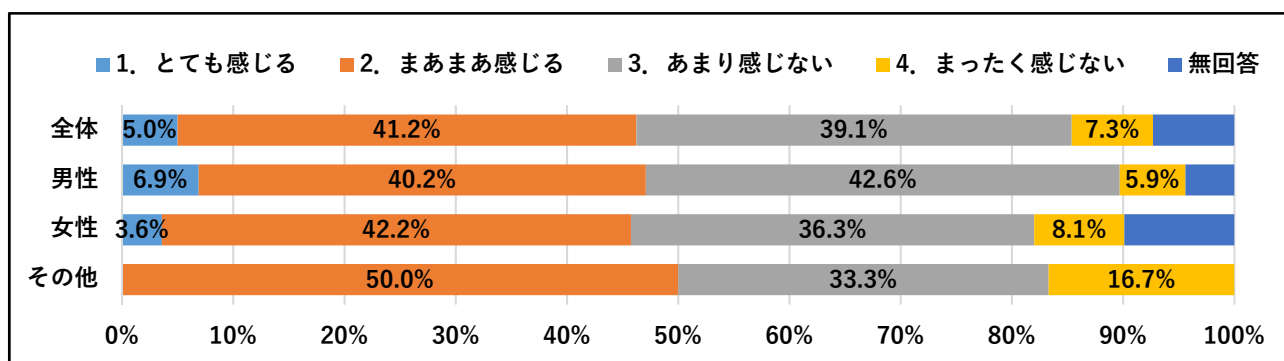
設問 7② 観光振興の取組みにより、本市の地域経済に寄与していると感じますか。



【分析概要】

- ▶観光振興の取組みが、本市の地域経済に寄与しているかについて、「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した人の割合は全体で33.0%となっており、市民の半数以上が観光振興による効果を感じていないことがうかがえます。
- ▶地区別では、八幡平の「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した割合が42%と最も高くなっています。
- ▶「あまり感じない」または「まったく感じない」と回答した選択理由として、「PR が足りていない」や「情報が入ってこない」といった意見が多く、観光振興に関する本市の取組みを、より効果的に周知していくことが求められています。

設問 7③ 観光振興の取組みにより、本市の伝統や文化が守られ、活かされていると感じますか。



【分析概要】

▶観光振興の取組みにより、伝統・文化が守られ、活かされていると感じるかについて、「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した割合は46.2%であるのに対し、「あまり感じない」または「まったく感じない」と回答した割合は46.4%となり、それぞれが半数ほどに分かれる結果となりました。

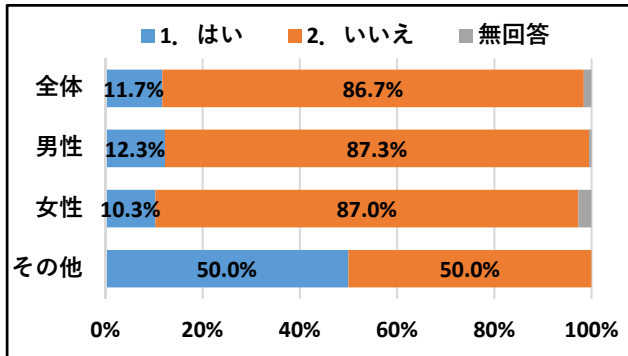
▶年代別では30歳未満の「とても感じる」または「まあまあ感じる」と回答した割合が60.6%と最も高くなりました。

▶花輪ばやしや毛馬内盆踊りなどの伝統芸能の継承のほか、大湯環状列石、旧関善酒店などの文化遺産の保存に繋がっているという意見が多く、本市の伝統芸能及び文化遺産の保存・活用に関する取組みについて、市民から一定の評価が得られていることがうかがえます。

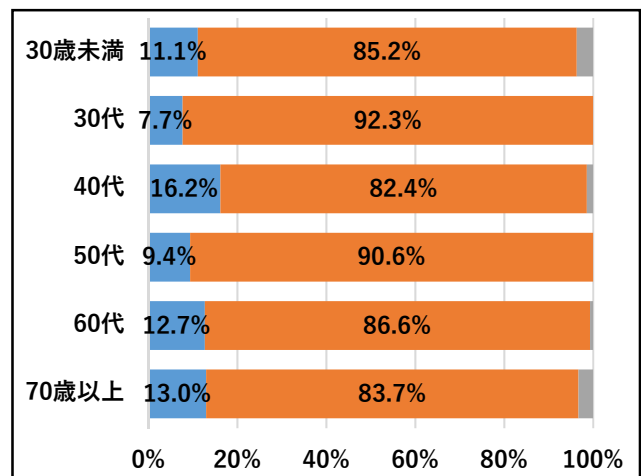
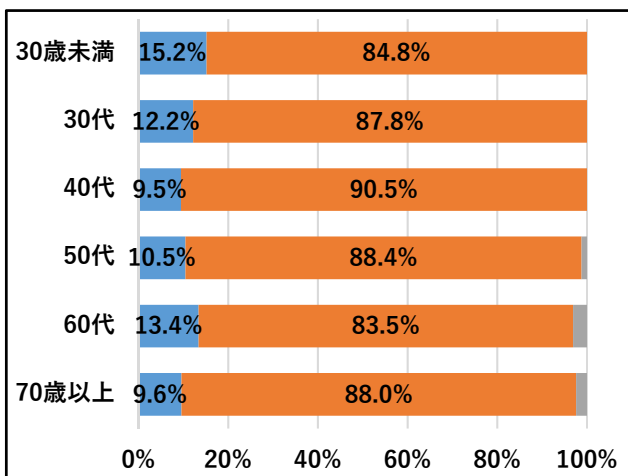
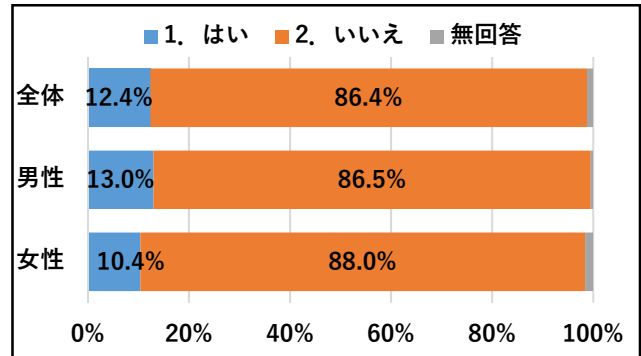
7 大館能代空港の利用について

設問 8 ① あなたは、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日にかけて、空港を利用しましたか。

R7 市民アンケート結果



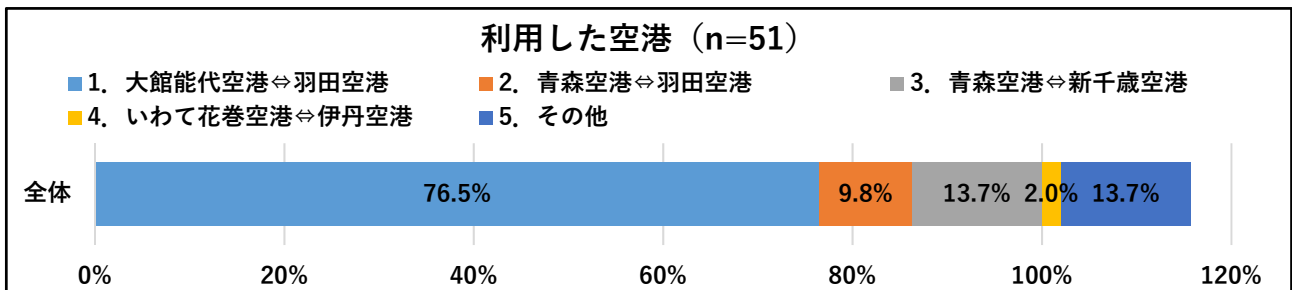
(参考) R6 市民アンケート結果



【分析概要】

▶ 昨年 1 年間に空港を利用した人の割合は 11.7% であり、昨年度と比較して 0.7 ポイント減少しています。

▶ 年代別にみると、30 代以下の利用が多く、昨年と比較して 30 歳未満では 4.1 ポイント、30 代では 4.5 ポイント増加しました。一方で、40 代と 70 歳以上では 9 % 台となり、低い利用率となりました。

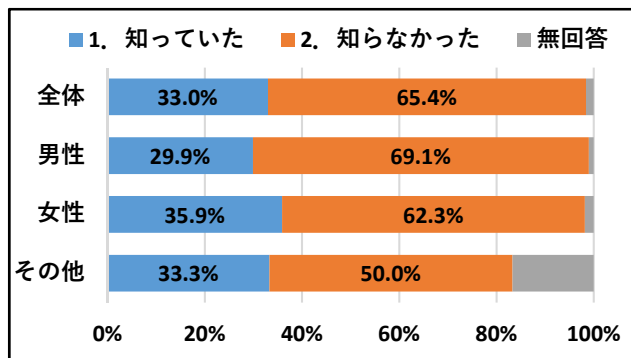


【分析概要】

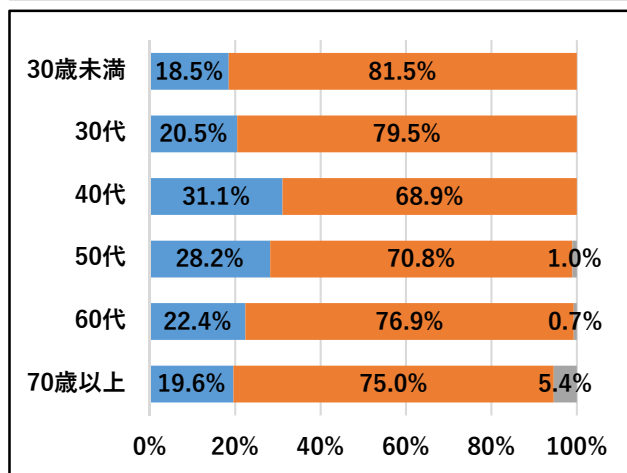
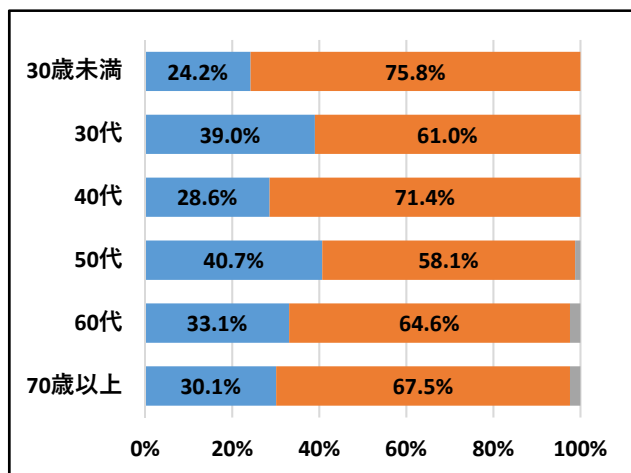
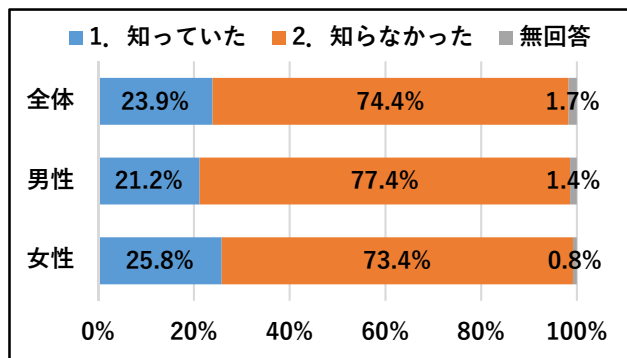
▶ 利用した区間については、大館能代ー羽田間の利用が最も多く、空港利用者の 76.5% が大館能代空港を利用していることが分かりました。

問8② 大館能代空港の利用促進を目的に、市民の方を対象に運賃助成（R6：5,000円）をしています。あなたはこのことを知っていましたか。

R7 市民アンケート結果



(参考) R6 市民アンケート結果



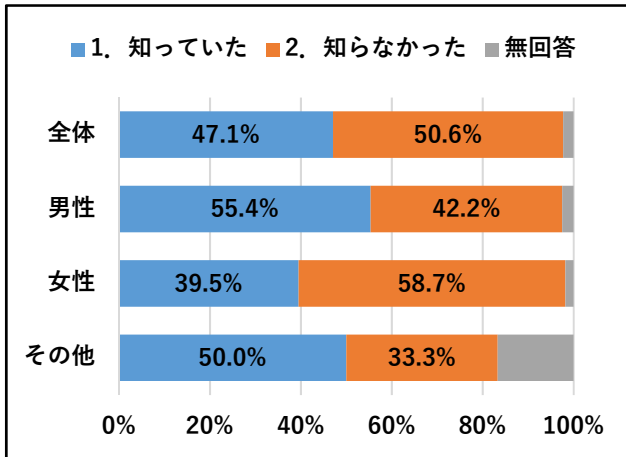
【分析概要】

- ▶ 運賃助成制度については、「知っていた」と回答した割合は 33.0%で、昨年度と比較して 9.1 ポイント増加しました。徐々に制度の認知度が向上してきていると言えますが、依然として 6 割以上の方が助成制度の存在を知らなかったと回答しており、さらなる周知が必要です。
- ▶ 年代別では、「知っていた」と回答した割合は 30 歳未満が 24.2%と最も低くなっており、SNS を活用するなど若年層に対する効果的な周知が必要です。

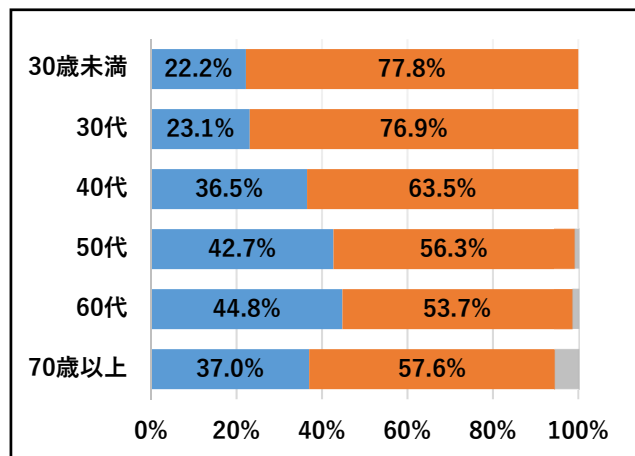
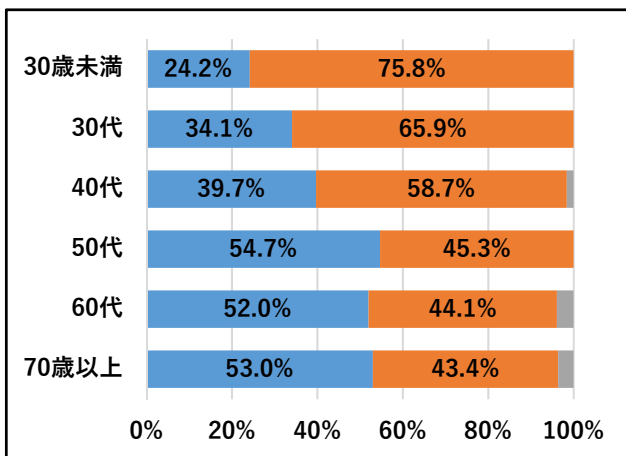
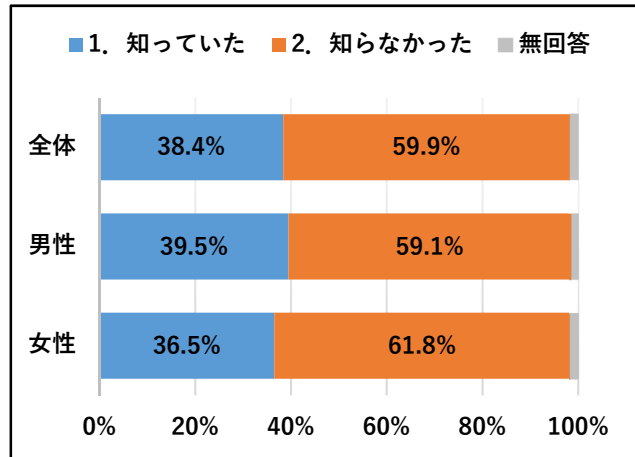
8 カーボンニュートラルについて

設問9 鹿角市では、令和4年3月に「鹿角市2030ゼロ・カーボンシティ宣言」を行い、日本全体の目標である2050年より20年早い、2030年のカーボンニュートラル実現を目指しています。このことを知っていましたか。

R7 市民アンケート結果



(参考) R6 市民アンケート結果



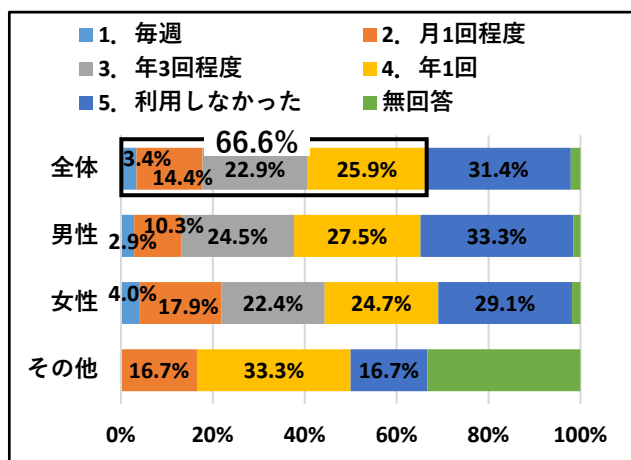
【分析概要】

- ▶ 「鹿角市2030ゼロ・カーボンシティ宣言」を知っている人の割合は47.1%で、昨年と比較して8.7ポイント増加しました。
- ▶ 男女別では、男性の知っていた割合が55.4%で、昨年度と比較して15.9ポイント増加しました
- ▶ 年代別では、全ての年代で昨年度を上回りました。特に50代以降では全ての年代で5割を上回りました。また、30代は昨年度と比較して11.0ポイント増加しています。一方で、30歳未満では24.2%と、2.0ポイントの増加に留まりました。

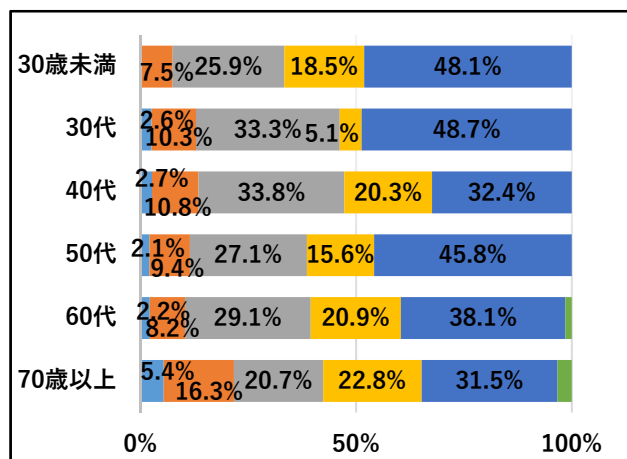
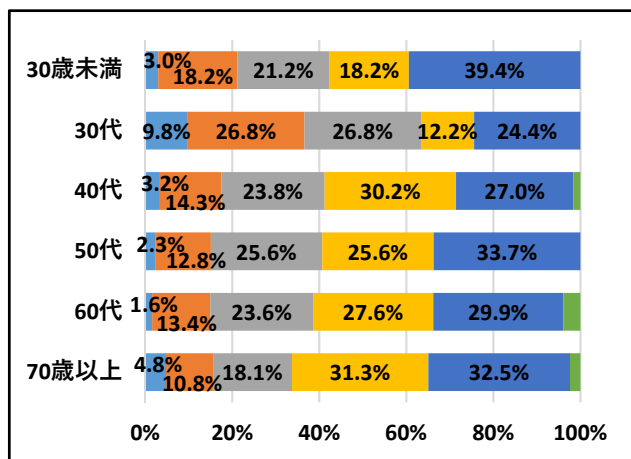
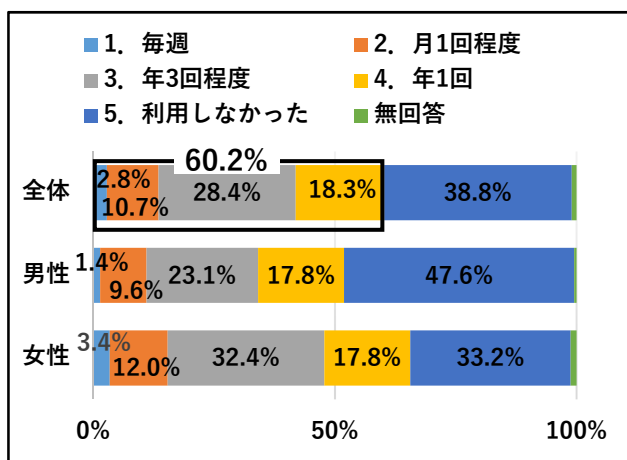
9 コモッセの利用状況について

設問 10 あなたは、昨年度1年間にコモッセをどれくらい利用しましたか。

R7 市民アンケート結果



(参考) R6 市民アンケート結果



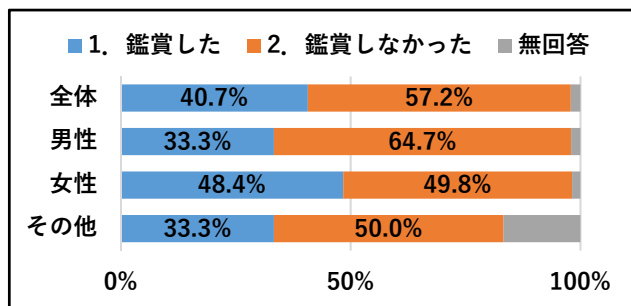
【分析概要】

- ▶ コモッセを利用した人の割合は全体で66.6%となり、昨年度と比較して6.4ポイント増加しました。
- ▶ 男女別では女性で利用した割合が昨年度から3.4ポイント増加し69.0%に、男性で利用した割合が13.3ポイント増加し65.2%となり、男女ともに60%を超えました。
- ▶ 年代別では、すべての年代で利用した人の割合が60%を超えました。特に30代は75.6%と最も高く、昨年度と比較して24.3ポイント増加しました。

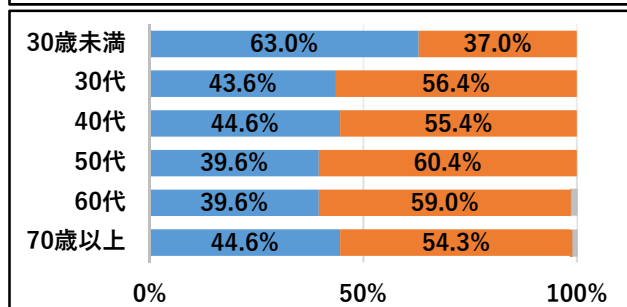
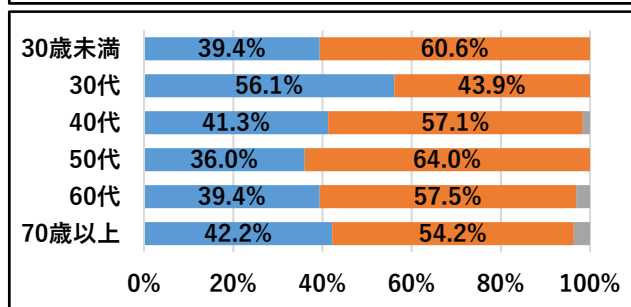
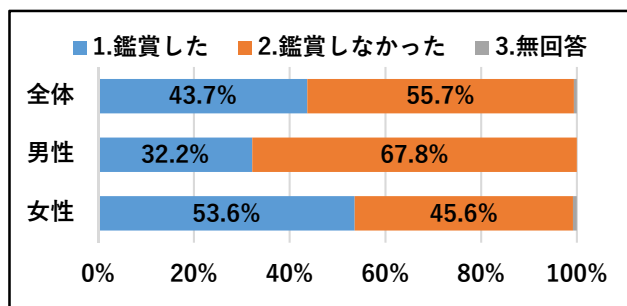
10 芸術鑑賞について

設問 11 あなたは、昨年1年間に市内外で文化芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等）をしましたか。

R7 市民アンケート結果



(参考) R6 市民アンケート結果

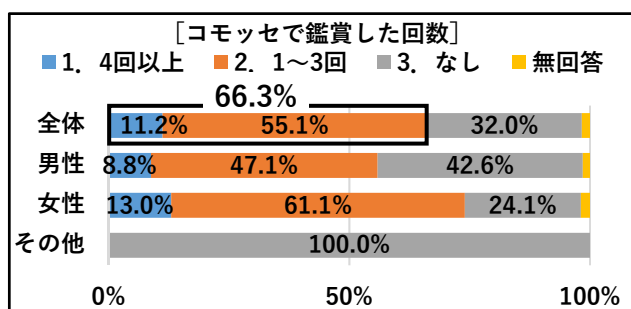


【分析概要】

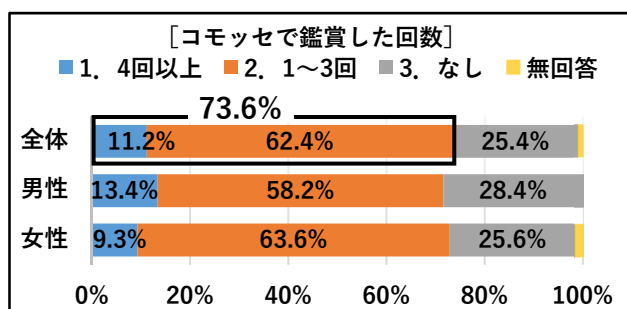
- ▶ 「鑑賞した」と回答した割合は 40.7%と昨年度と比較して 3.0 ポイント減少しました。
- ▶ 年代別では 30 歳未満の「鑑賞した」と回答した割合は 39.4%と昨年度と比較して 23.6 ポイント減少した一方で、30 代は 56.1%と、昨年度と比較して 12.5 ポイント増加しました。

設問 11 (続き) そのうちコモッセで何回鑑賞しましたか。

R7 市民アンケート結果 (n=178)



(参考) R6 市民アンケート結果 (n=205)

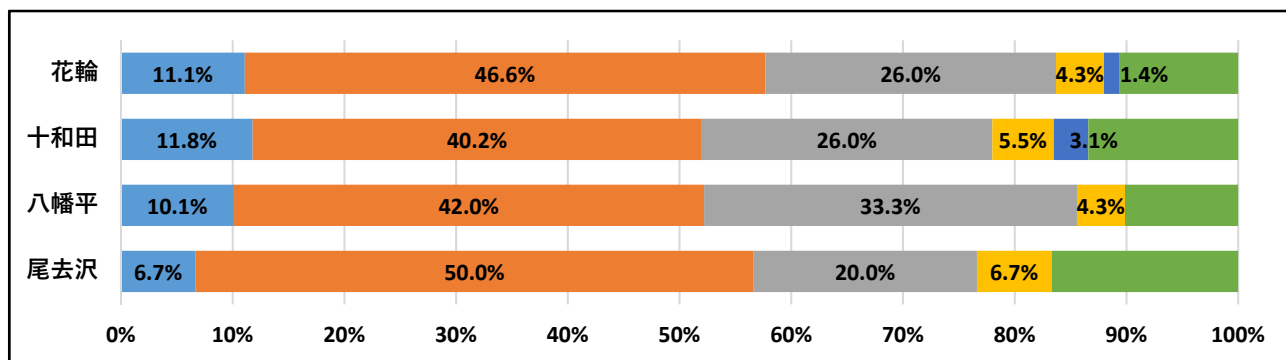
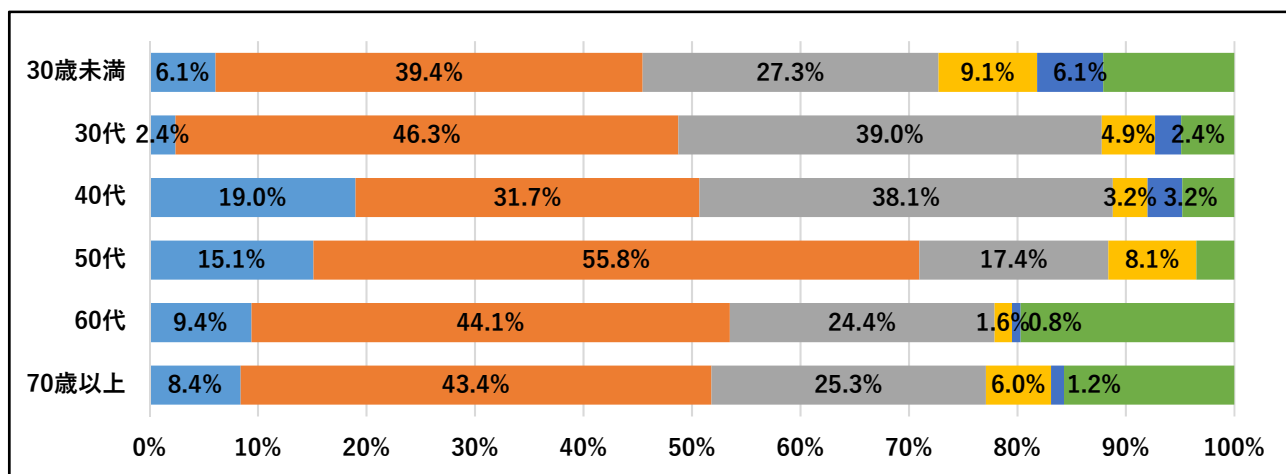
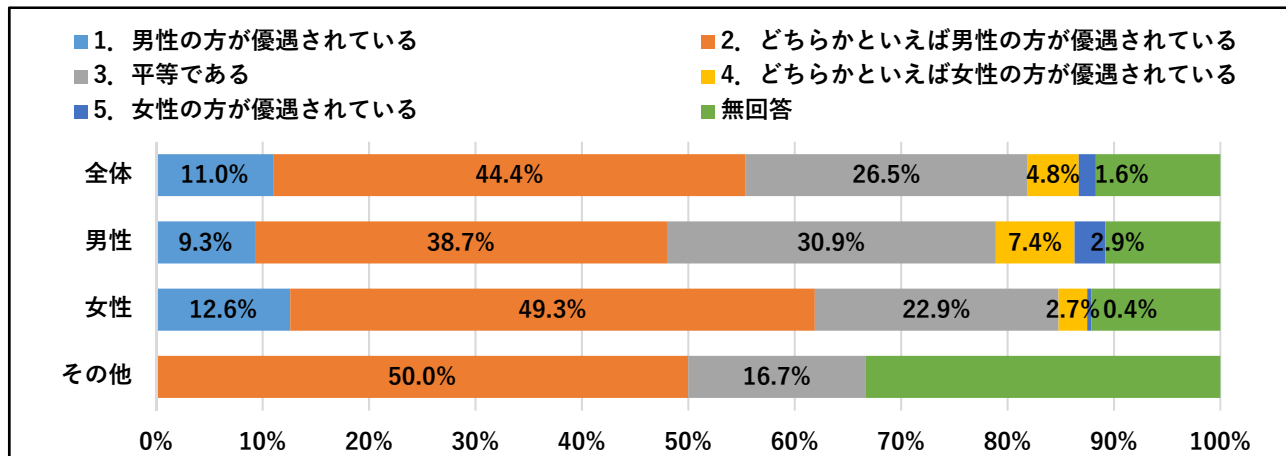


【分析概要】

- ▶ 芸術鑑賞した人のうちコモッセで鑑賞した人は 66.3%と、昨年度と比較して 7.3 ポイント減少しました。

11 男女共同参画について

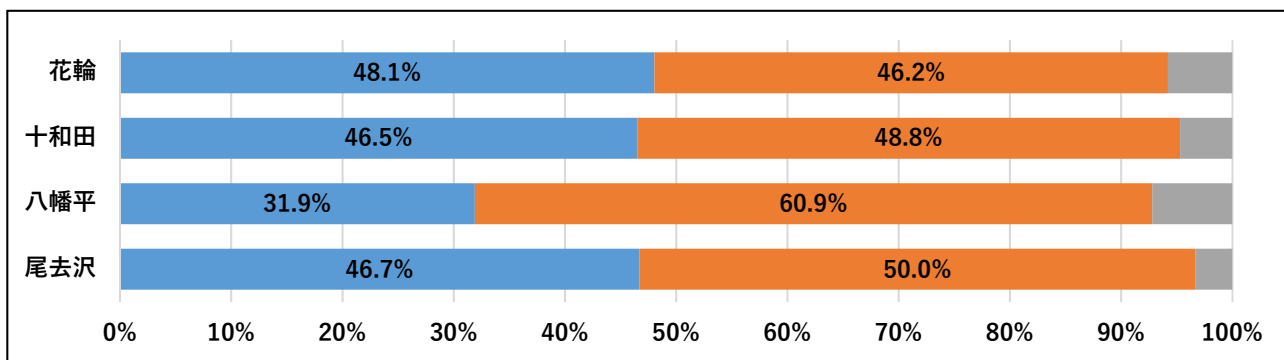
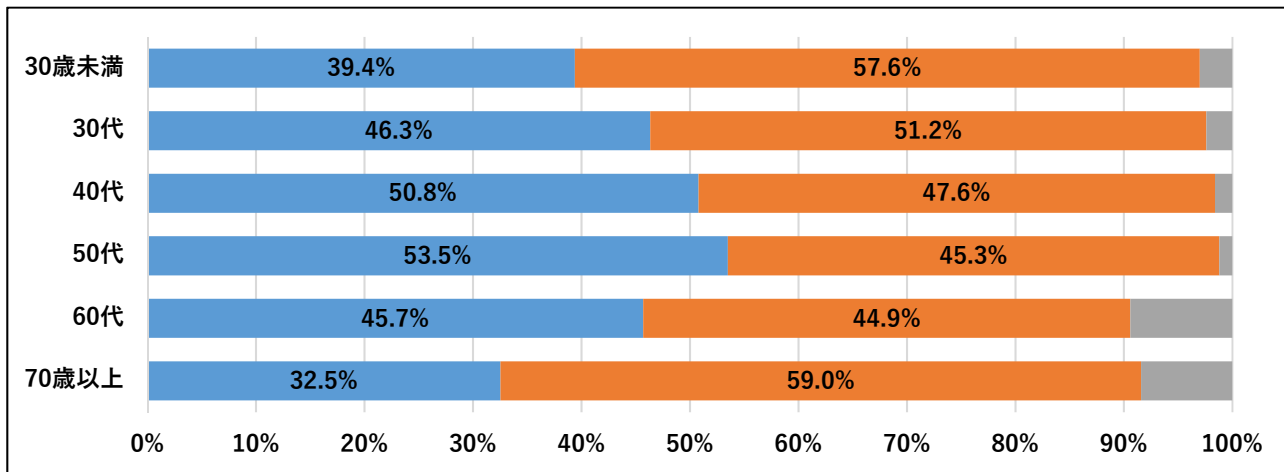
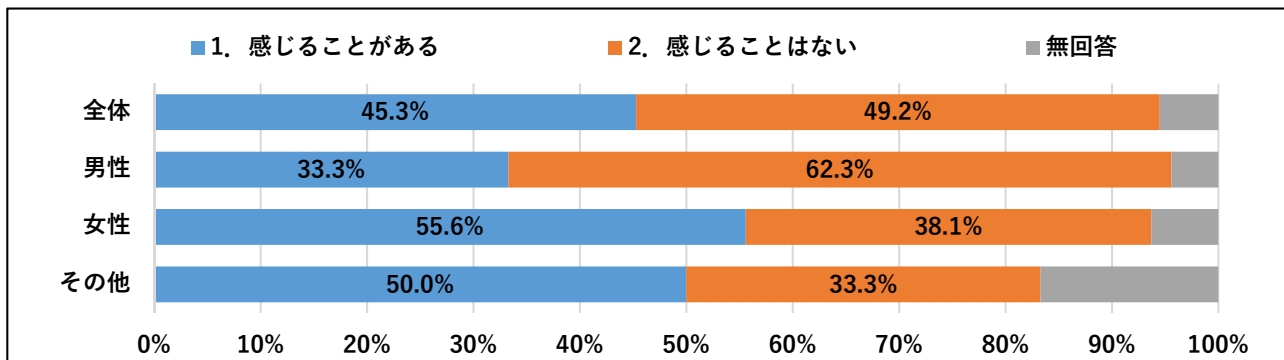
設問 12① 男女の地位は平等になっていると感じますか。



【分析概要】

- ▶ 「平等である」と回答した割合は 26.5%と、R2 年度に実施した前回調査（26.7%）より 0.2 ポイント減少しています。
- ▶ 男女別では、「平等である」と回答した割合は男性は 30.9%、女性は 22.9%でした。
- ▶ 年代別では、40 代以下の年代で、平等と感じている割合が他の年代と比較して高くなっています。

設問 12② 日常生活において、性別役割分担意識を感じることはありますか。

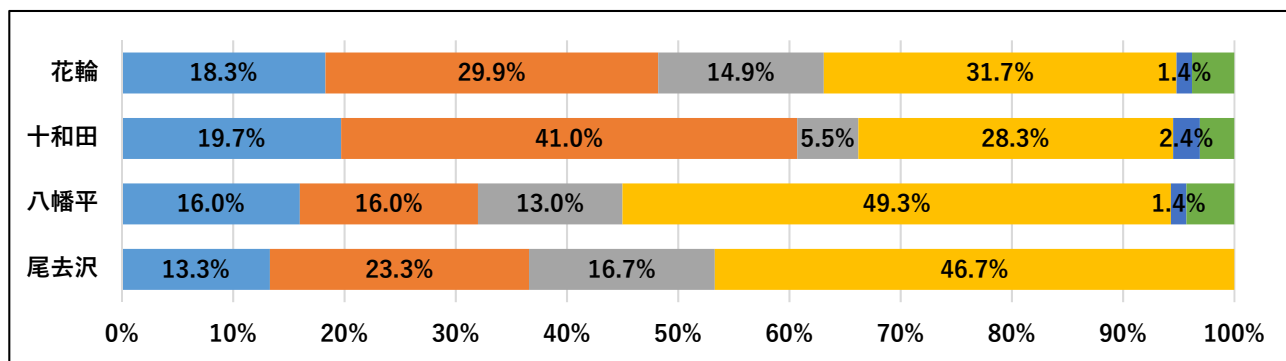
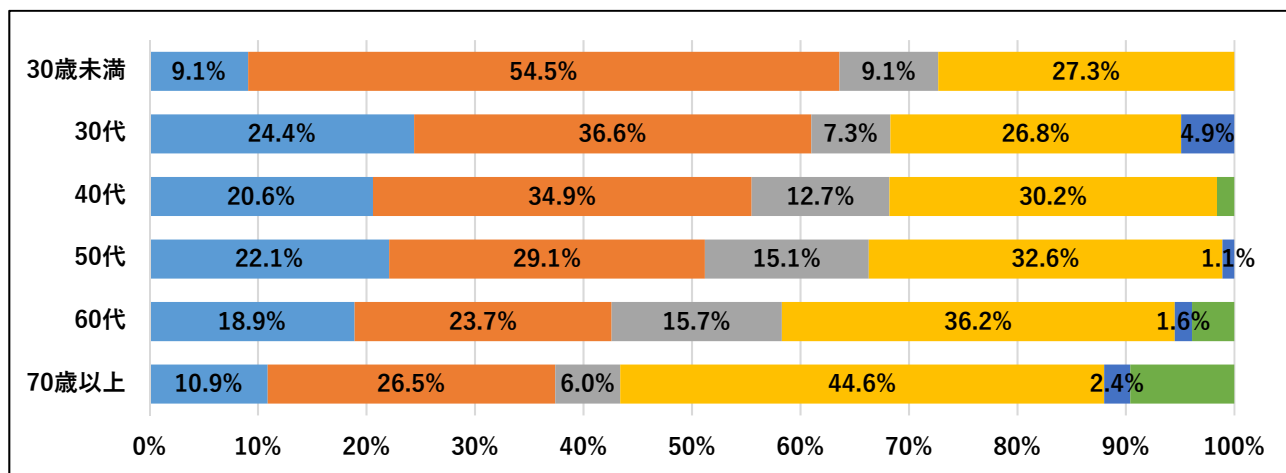
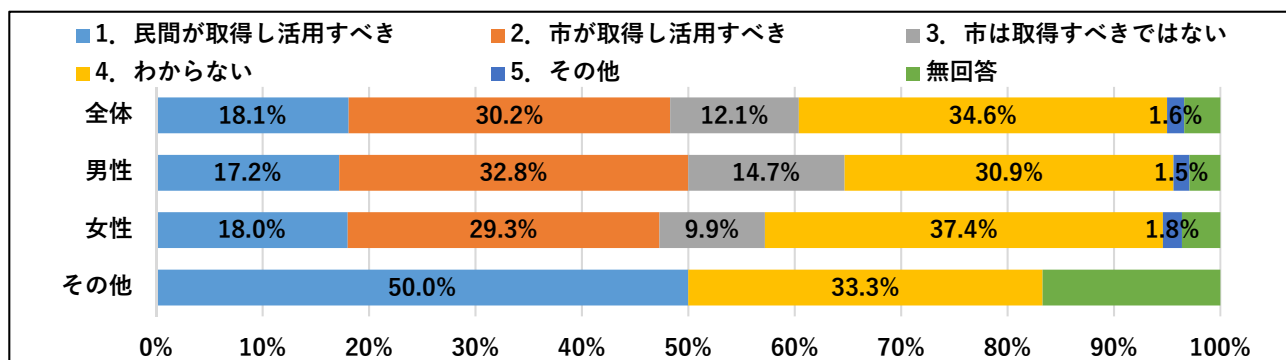


【分析概要】

- ▶ 性別役割分担意識について「感じることもある」と回答した割合が 45.3%であるのに対し、「感じることはない」と回答した割合は 49.2%とやや上回っています。
- ▶ 男女別では、「感じることもある」と回答した男性の割合は 33.3%であるのに対し、女性は 55.4%と半数を上回っています。
- ▶ 年代別では、「感じることはない」と回答した割合は、30 歳未満と 70 歳以上が他の年代と比較して高くなっています。

12 十和田高校跡地の活用について

設問 13① 跡地活用について、あなたの考えに近いもの一つに○をつけてください。

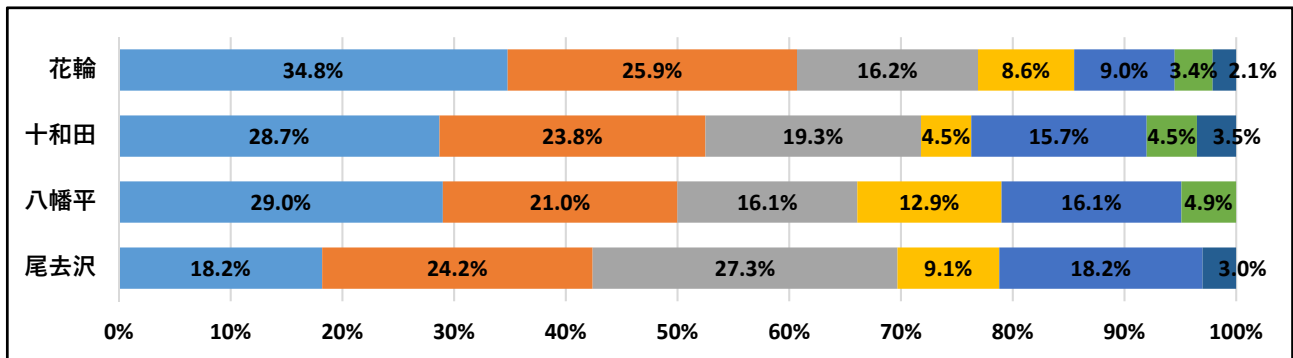
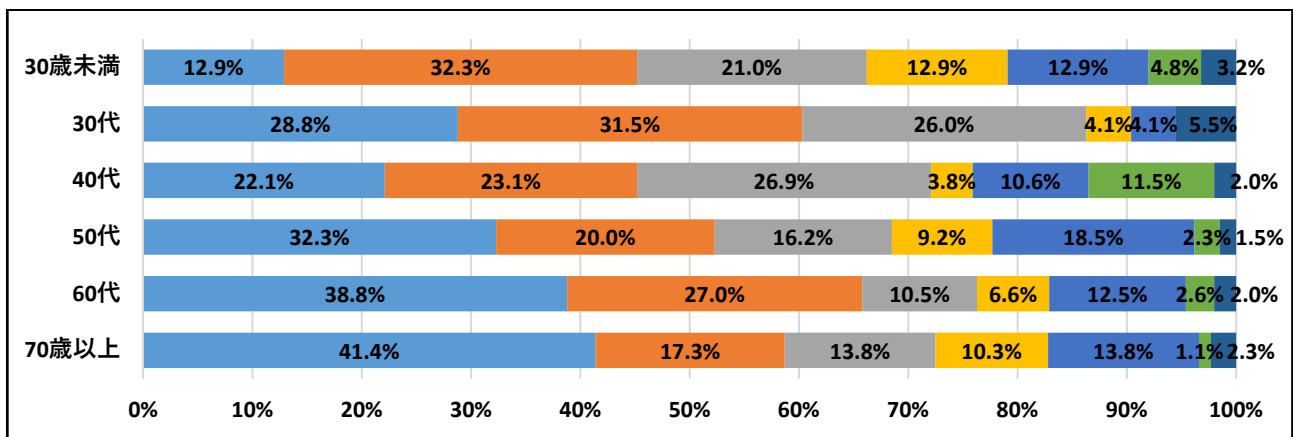
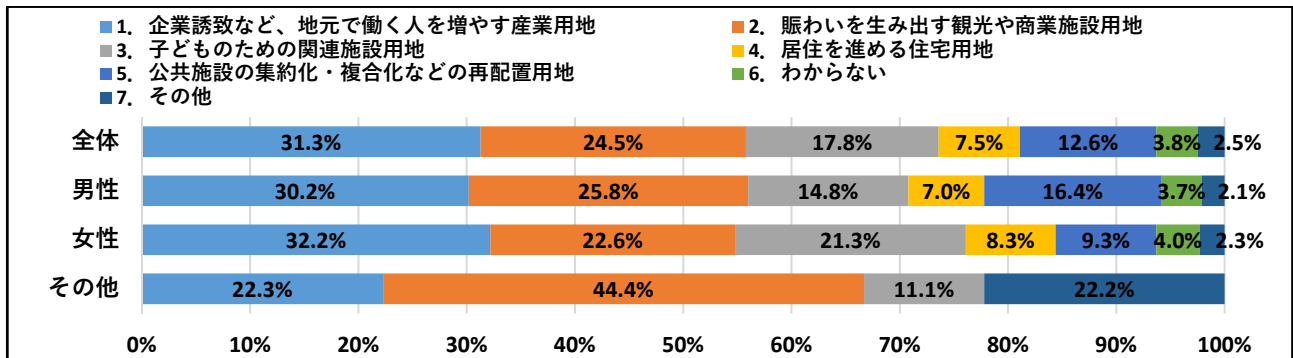


【分析概要】

- ▶ 「市が取得し活用すべき」との回答が 30.2%を占め、市による取得・活用を望む声が一定程度見られた一方で、「民間が取得し活用すべき」(18.1%) および「市は取得すべきではない」(12.1%) を合わせると 30.2%であり、市による取得に慎重であるべきとの考えも一定の割合を占めています。
- ▶ 最も多かった回答は「わからない」(34.6%) であり、跡地活用に対する具体的な関心や判断意識が市民全体に広がっていないことが分かりました。
- ▶ 年代別では、「市が取得し活用すべき」と回答した割合は、30歳未満で 54.5%と最も高く、以降、年代が上がるにつれてこの割合は低下しています。
- ▶ 地区別では、「市が取得し活用すべき」と回答した割合は、所在地区である十和田地区が 41.0%と最も高くなっています。一方で「わからない」と回答した割合は、八幡平地区が 49.3%と最も高く、次いで尾去沢地区が 46.7%となっており、地域的な距離が関心に影響していると考えられます。

設問 13② 跡地活用の方向性として、どのようなものが望ましいと思いますか。

(設問 13①で「市が取得」「民間が取得」を選択した方のみ回答。優先順位をつけて2つ選択し、1番目を2ポイント、2番目を1ポイントとして集計) (N=611)



【分析概要】

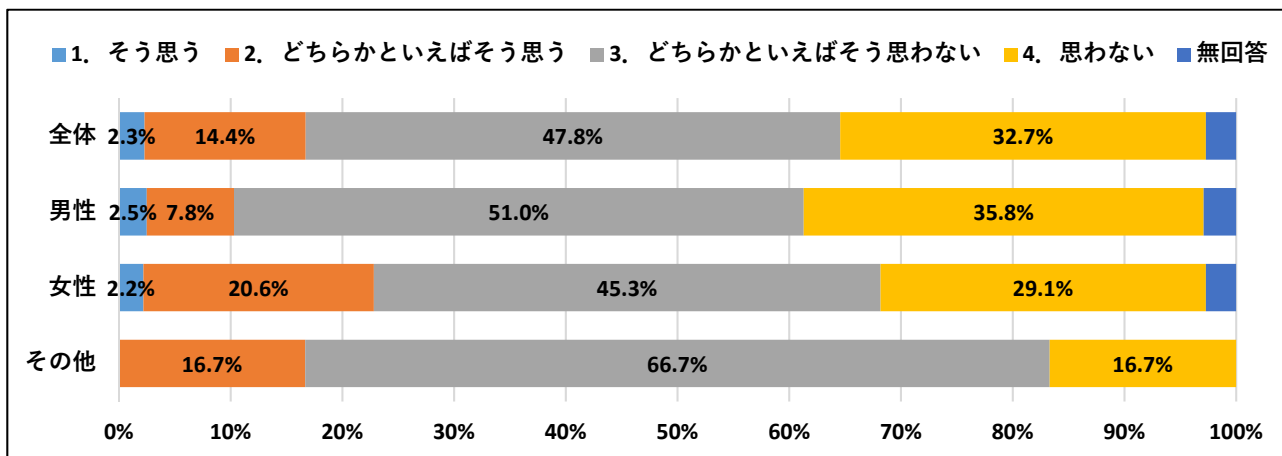
▶もっとも多くの回答を得たのは「地元で働く人を増やす産業用地（企業誘致など）」で、次いで「観光・商業施設による賑わいの創出」が挙がっており、地域ににぎわいをもたらす活用への関心が強いことが分かります。一方で、公共施設の再配置などの行政主導型の用途は、相対的に支持が低く、跡地の活用には即効性や経済効果を重視する意識が高いといえます。

▶年代別では、30歳未満、30代では、「賑わいを生み出す観光や商業施設用地」と回答した割合が最も高い一方で、50代、60代、70歳以上では「企業誘致など、地元で働く人を増やす産業用地」と回答した割合が最も高くなっています。

▶地区別では、花輪地区、十和田地区、八幡平地区で「企業誘致など、地元で働く人を増やす産業用地」と回答した割合が最も高くなっており、尾去沢では「子供のための関連施設用地」と回答した割合が最も高くなっています。

13 まちの満足度について

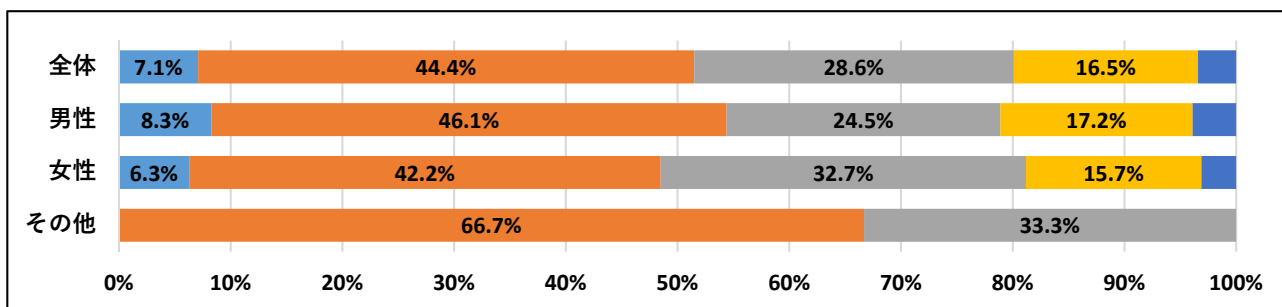
設問 14① あなたは、鹿角市の産業（会社、店舗、農業など）は元気で活力があると思いますか。



【分析概要】

▶R1 基準値（19.5%）より 2.8 ポイント減少。男性は 5.2 ポイント、女性は 0.9 ポイント減。

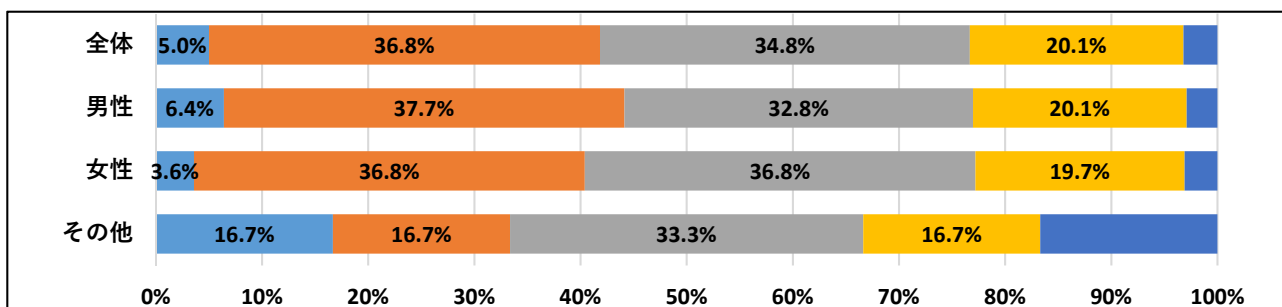
設問 14② あなたは、鹿角市が心身ともに健康な暮らしができるまちだと思いますか。



【分析概要】

▶R1 基準値（58.7%）より 7.2 ポイント減。男性は 1.4 ポイント、女性は 12.6 ポイント減。

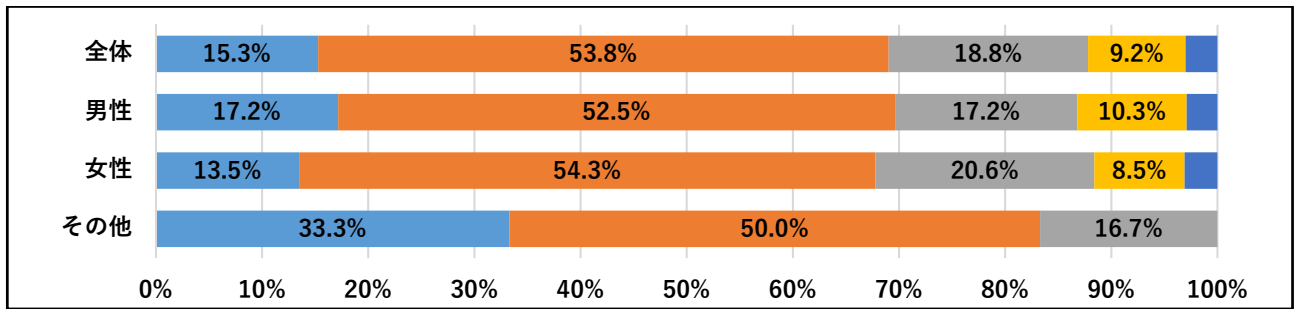
設問 14③ あなたは、鹿角市は生活環境が快適なまちだと思いますか。



【分析概要】

▶R1 基準値（49.7%）より 7.9 ポイント減。男性は 1.9 ポイント、女性は 12.0 ポイント減。

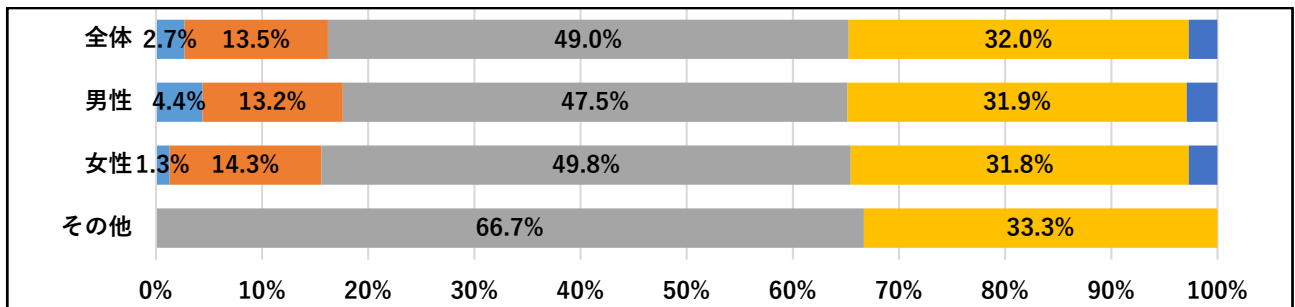
設問 14④ あなたは、鹿角市が安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。



【分析概要】

▶R1 基準値 (77.6%) より 8.5 ポイント減。男性は 8.2 ポイント、女性は 10.7 ポイント減。

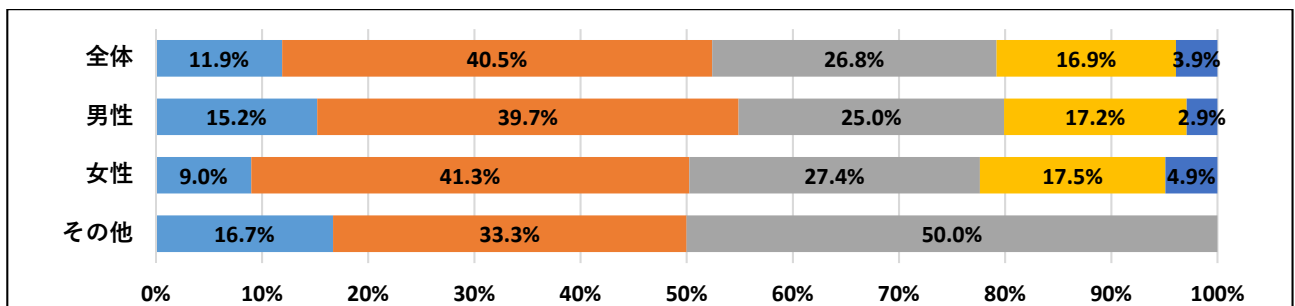
設問 14⑤ あなたは、鹿角市が市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。



【分析概要】

▶R1 基準値 (23.4%) より 7.2 ポイント減少。男性は 6.3 ポイント減、女性は 6.6 ポイント減。

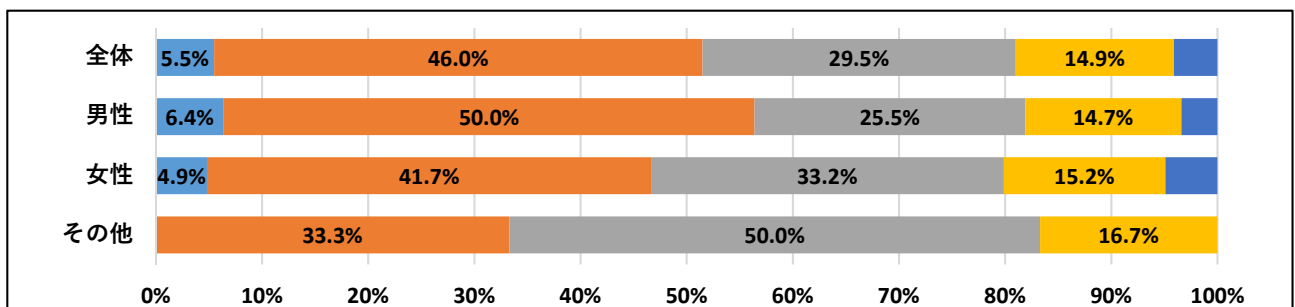
設問 14⑥ あなたは、鹿角市は文化遺産が豊富で誇れるまちであると思いますか。



【分析概要】

▶R1 基準値 (51.3%) より 1.1 ポイント増加。男性は 0.4 ポイント減、女性は 2.6 ポイント増。

設問 14⑦ あなたは、自分に必要な行政サービスが受けられていると思いますか。



【分析概要】

▶R1 基準値 (59.8%) より 8.3 ポイント減少。男性は 6.0 ポイント、女性は 10.9 ポイント減。